

令和6年度 法曹コースの実態調査

集計対象 : 令和6年5月1日時点で法学部等に置かれている
認定連携法曹基礎課程（法曹コース） 74コース

調査基準日 : 令和6年5月1日

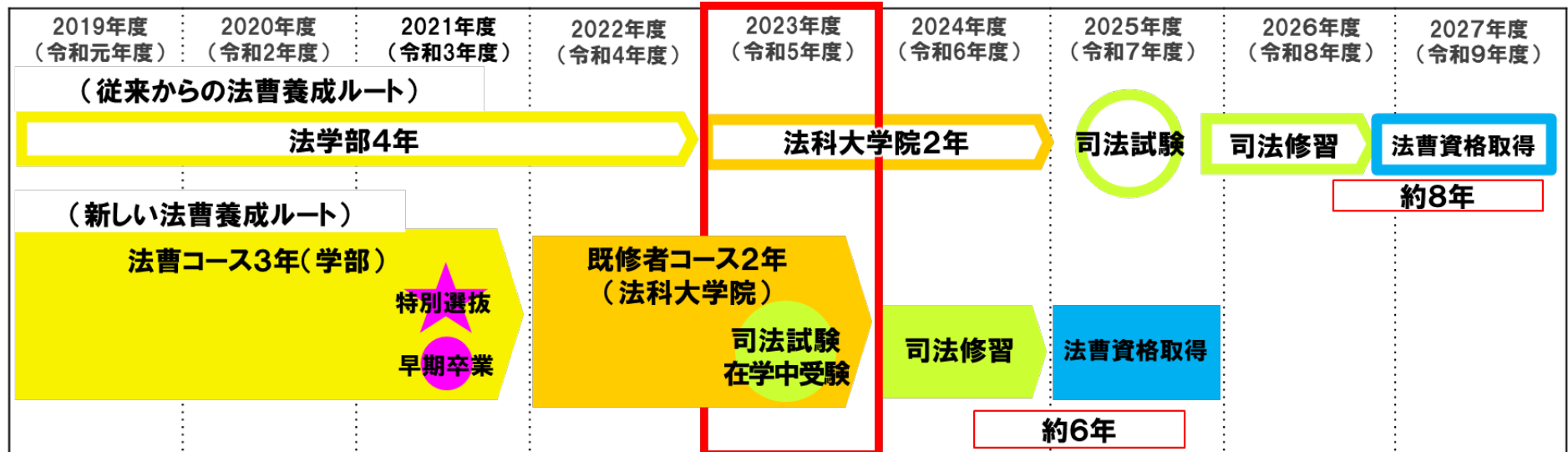
法曹コースとは

- ✓ 法曹コース（※1）とは、法曹（裁判官・検察官・弁護士）を目指す学生が大学の学部段階から法曹になるための教育を受けることができるコース。

※1 正式名称「連携法曹基礎課程」。法学部などの法学を学ぶ学部設置されている。連携する法科大学院と「法曹養成連携協定」を締結し文部科学大臣が認定。

- ✓ 法科大学院との連携協力のもとで、体系的・一貫的な学修をすることが可能。大学3年で早期卒業して、法科大学院（既修者コース：2年）に進学し、法曹となることを目指す（※2）

※2 早期卒業し、在学中受験で司法試験に合格した場合、法曹として活躍するまでの期間を従来より約2年短縮することが可能。



I. 基礎情報

II. 法曹コースの登録・進級時の選抜、修了要件等

III. 法曹コースの教育

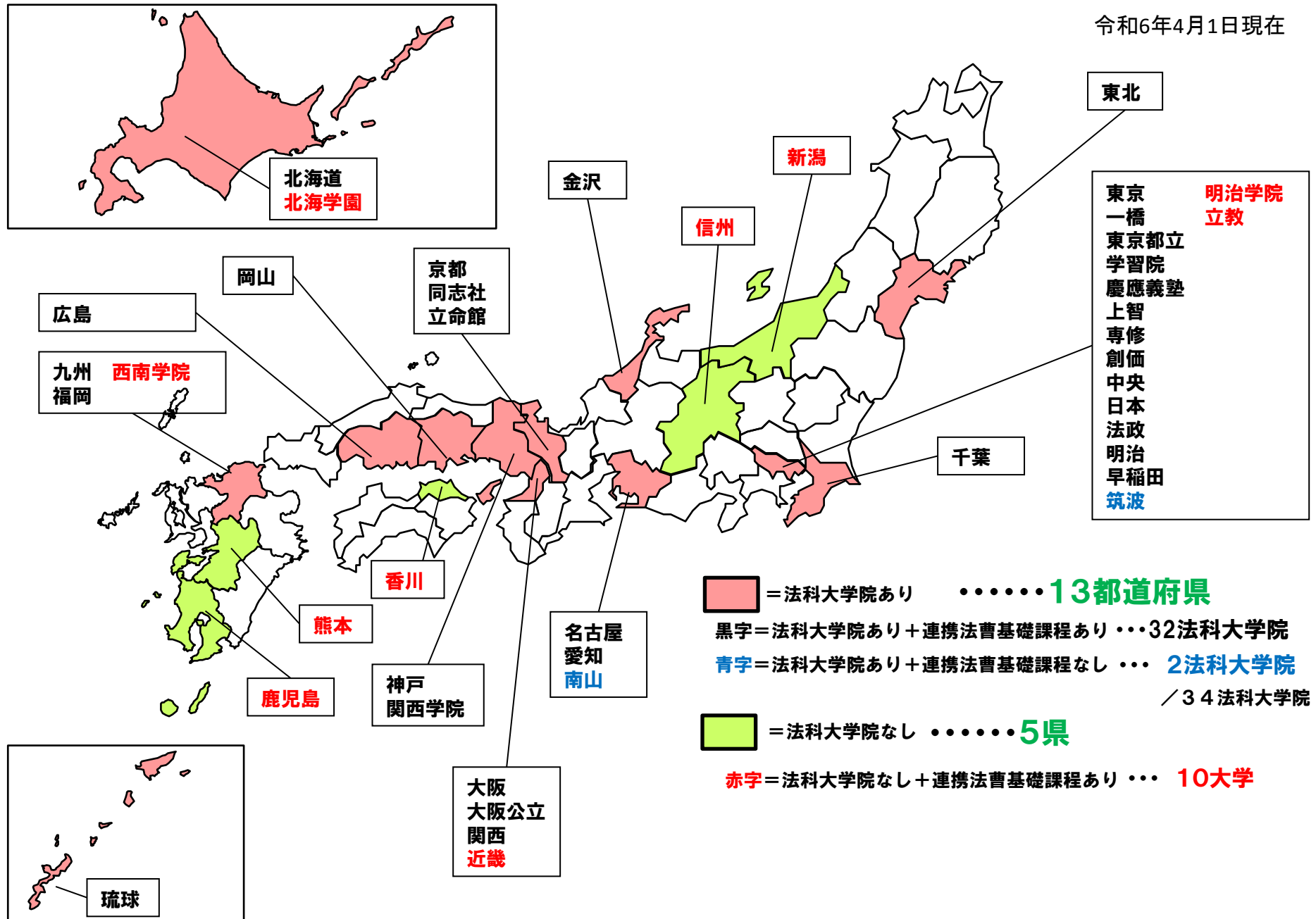
IV. 学生指導、広報活動、法曹コースの学生の様子

V. 連携法科大学院との連携、法曹コース運営等

I . 基礎情報

1. 法曹養成連携協定の締結状況①

令和6年4月1日現在



1. 法曹養成連携協定の締結状況②

法曹コース数・・・42コース（前年比+2コース）

協定数・・・74協定（42の法曹コースがそれぞれの法科大学院と締結した協定数）（前年比+4コース）

法曹コースを置く大学	連携法科大学院
1.北海道大学	北海道大学
2.東北大学	東北大学
3.千葉大学	千葉大学
4.東京大学	東京大学
5.一橋大学	一橋大学
6.新潟大学	東北大学、神戸大学、慶應義塾大学、中央大学
7.金沢大学	金沢大学
8.信州大学	慶應義塾大学、中央大学 東京都立大学
9.名古屋大学	名古屋大学
10.京都大学	京都大学
11.大阪大学	大阪大学
12.神戸大学	神戸大学
13.岡山大学	岡山大学
14.広島大学	広島大学
15.香川大学	大阪大学、広島大学、岡山大学
16.九州大学	九州大学
17.熊本大学	神戸大学、九州大学、中央大学、早稲田大学
18.鹿児島大学	千葉大学、神戸大学、九州大学、中央大学
19.琉球大学	琉球大学
20.東京都立大学	東京都立大学
21.大阪公立大学	大阪公立大学
22.北海学園大学	北海道大学
23.学習院大学	学習院大学、慶應義塾大学、中央大学
24.慶應義塾大学	慶應義塾大学

法曹コースを置く大学	連携法科大学院
25.上智大学	上智大学
26.専修大学	専修大学
27.創価大学	創価大学
28.中央大学	中央大学
29.日本大学	日本大学
30.法政大学	法政大学
31.明治大学	慶應義塾大学、中央大学、明治大学
32.明治学院大学	千葉大学、東京都立大学、慶應義塾大学、中央大学、明治大学、早稲田大学
33.立教大学	慶應義塾大学、中央大学、早稲田大学
34.早稲田大学	早稲田大学
35.愛知大学	愛知大学
36.同志社大学	神戸大学、同志社大学
37.立命館大学	名古屋大学、神戸大学、中央大学、立命館大学
38.関西大学	関西大学
39.関西学院大学	関西学院大学
40.近畿大学	神戸大学
41.西南学院大学	九州大学、学習院大学、中央大学、早稲田大学、同志社大学
42.福岡大学	福岡大学

1. 法曹養成連携協定の締結状況③

■ 自大学の法科大学院がない法曹コース……………10コース（前年比±0コース）

※いずれも、法科大学院を廃止した経緯あり（学生募集を停止した場合も含む）

（新潟、信州、香川、熊本、鹿児島、北海学園、明治学院、立教、近畿、西南学院）

■ 地方大学枠の対象となる法曹コース……………5コース（前年比±0コース）

※地方大学とは、直近の国勢調査（令和2年）における大都市圏以外の地域に設置されている大学及び大都市圏であっても当該都市圏に法科大学院が設置されていない地域にある大学とする。

（新潟、信州、香川、熊本、鹿児島）

■ 遠隔地(他都県)の法科大学院と協定締結している法曹コース……10コース（前年比±0コース）

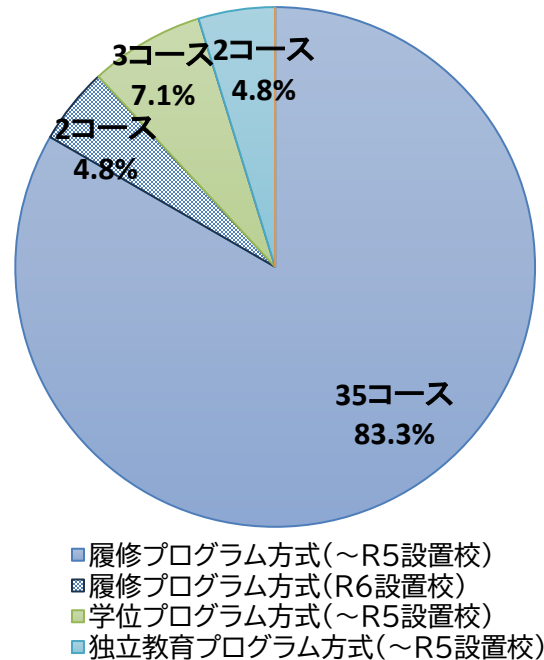
（新潟、信州、香川、熊本、鹿児島、明治学院、同志社、立命館、近畿、西南学院）

■ 3以上の協定を締結している法曹コース……………11コース（前年比+1コース）

- ・新潟大学×4法科大学院（東北、神戸、慶應、中央）
- ・信州大学×3法科大学院（慶應、中央、東京都立）
- ・香川大学×3法科大学院（大阪、広島、岡山）
- ・熊本大学×4法科大学院（神戸、九州、中央、早稲田）
- ・鹿児島大学×4法科大学院（千葉、神戸、九州、中央）
- ・学習院大学×3法科大学院（学習院、慶應、中央）
- ・明治大学×3法科大学院（慶應、中央、明治）
- ・明治学院大学×6法科大学院（千葉、東京都立、慶應、中央、明治、早稲田）
- ・立教大学×3法科大学院（慶應、中央、早稲田）
- ・立命館大学×4法科大学院（立命館、名古屋、神戸、中央）
- ・西南学院大学×5法科大学院（九州、学習院、中央、早稲田、同志社）

2. 法曹コースの開設形態

法曹コースの開設形態は、「学位プログラム方式」「履修プログラム方式」「独立教育プログラム方式」のいずれに該当しますか。



- 履修プログラム方式として開設（37コース）（前年比+2コース）
（法曹コースの選択や離脱が比較的しやすい方式）
- 学位プログラム方式として開設（3コース）（前年比±0コース）
（卒業要件とコース修了要件が一致している方式）
（広島、立教、近畿）
- その他回答（2コース）（前年比±0コース）
 - ・ コースの1つとして開設し、学位プログラム方式を基礎としているが、所定の時期におけるコース変更の申請を認める（一橋）
 - ・ 2つのコースがあり、異なる方式を採用（日本）
法職課程法曹コース履修プログラム(R元年度入学者を対象)：履修プログラム方式
法曹コース(R2年度以降の入学者を対象)：学位プログラム方式

参考

・ 学位プログラム方式

法曹コース＝学位プログラムとして、学士の学位を取得させるに当たり、学士のレベルと分野に応じて達成すべき能力を明示し、それを修得させるように体系的に設計したプログラム。

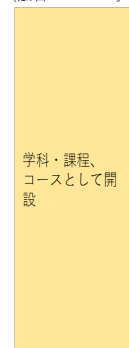
・ 履修プログラム方式

学位プログラムの構成要素の一部として、学科・課程やコースの中に、法科大学院に入学するための能力を修得するために体系的に編成された履修プログラム方式として開設。

・ 独立教育プログラム方式

学位プログラムとは別に法科大学院に入学するための能力を修得するために体系的に編成された独立教育プログラムとして開設。独立教育プログラムの一部が学位プログラムに組み込まれていることも可能。

（法曹コース＝学位プログラム）



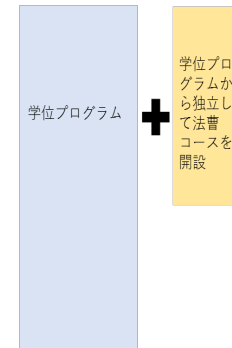
（メリット）
卒業要件とコース修了要件が一致することで、早期卒業要件は満たしているがコース修了要件が満たされていないという事態が発生しない。

（履修プログラム方式）



（メリット）
法曹コースの追加的選択や途中離脱がある程度、柔軟にできることから、学生のニーズに応じやすい。

（独立教育プログラム方式）



（メリット）
法曹コースとしての体系的なカリキュラム編成が学位プログラムから独立して開設可能。
※開設科目の一部が卒業要件単位に含まれていても可。

3. 令和5年度法曹コース在籍者数、修了者数、法科大学院進学者数等

法学部				合計
1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
令和5年度法曹コース在籍者数				
63人 (91人)	1,232人 (1,164人)	1,228人 (1,110人)	890人 (692人)	3,413人 (3,057人)
令和5年度法曹コース修了者数				
		249人 (256人)	423人 (308人)	672人 (564人)
令和6年度法科大学院進学者数				
		213人 (218人)	280人 (230人)	493人 (448人)
		うち協定先 158人 (158人)	202人 (161人)	360人 (319人)
		うち非協定先 55人 (60人)	78人 (69人)	133人 (129人)

※ 法曹コース在籍者数は概数（登録制でない法曹コースにおいては法曹コース利用希望者数又は早期卒業希望者数を回答）

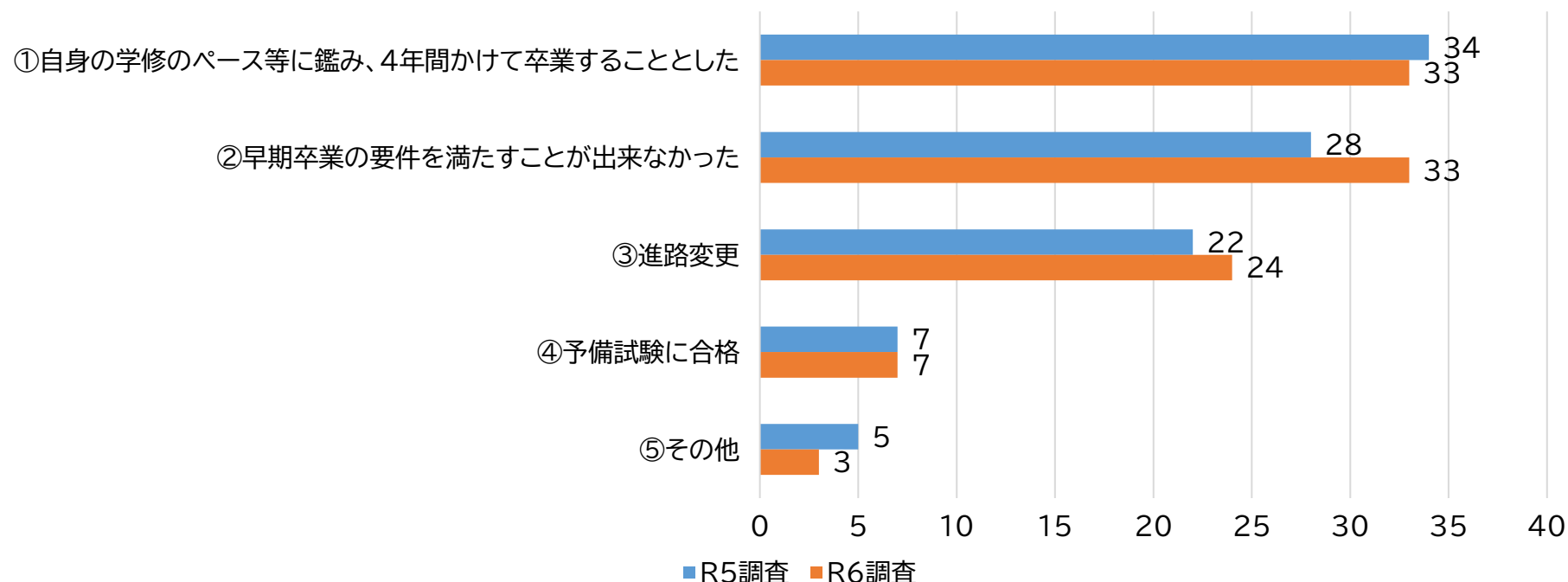
※ () 内は令和4年度の値（法曹コース在籍者数は令和5年に実施した文部科学省調査の回答）

※ 法科大学院進学者数は、法曹コースを置く学部が把握している値であり、実際の法科大学院進学者数とは異なる可能性がある。

4. 早期卒業をしなかった理由

法曹コースを選択した学生が早期卒業をしなかった理由として考えられる項目は何か。(複数回答可)

- ①自身の学修のペース等に鑑み、4年間かけて卒業することとした ②早期卒業の要件を満たすことが出来なかった
③進路変更 ④予備試験に合格 ⑤その他



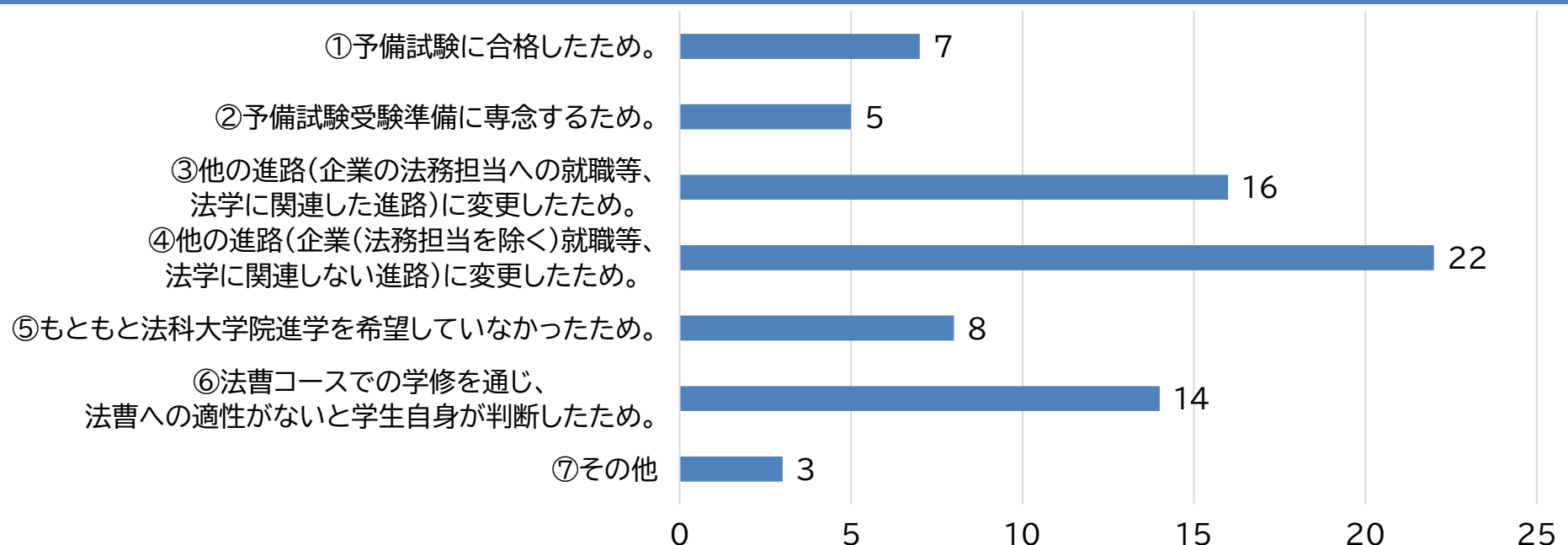
■ その他の内容

- 法科大学院入学者選抜で不合格となったため（R5：4コース、R6：2コース）
- 他学部から編入したため、カリキュラム上3年次までに法曹コース指定科目のすべてを履修できないため（R5：1コース）
- 非協定先の法科大学院を志望しているため（R6：1コース）

5. 法科大学院に進学しなかった理由

法曹コースを選択した学生が法科大学院に進学しなかった理由として考えられる項目は何か。(複数回答可)

- ①予備試験に合格したため。②予備試験受験準備に専念するため。
 ③他の進路（企業の法務担当への就職等、法学に関連した進路）に変更したため。
 ④他の進路（企業（法務担当を除く）就職等、法学に関連しない進路）に変更したため。
 ⑤もともと法科大学院進学を希望していなかったため。
 ⑥法曹コースでの学修を通じ、法曹への適性がないと学生自身が判断したため。⑦その他

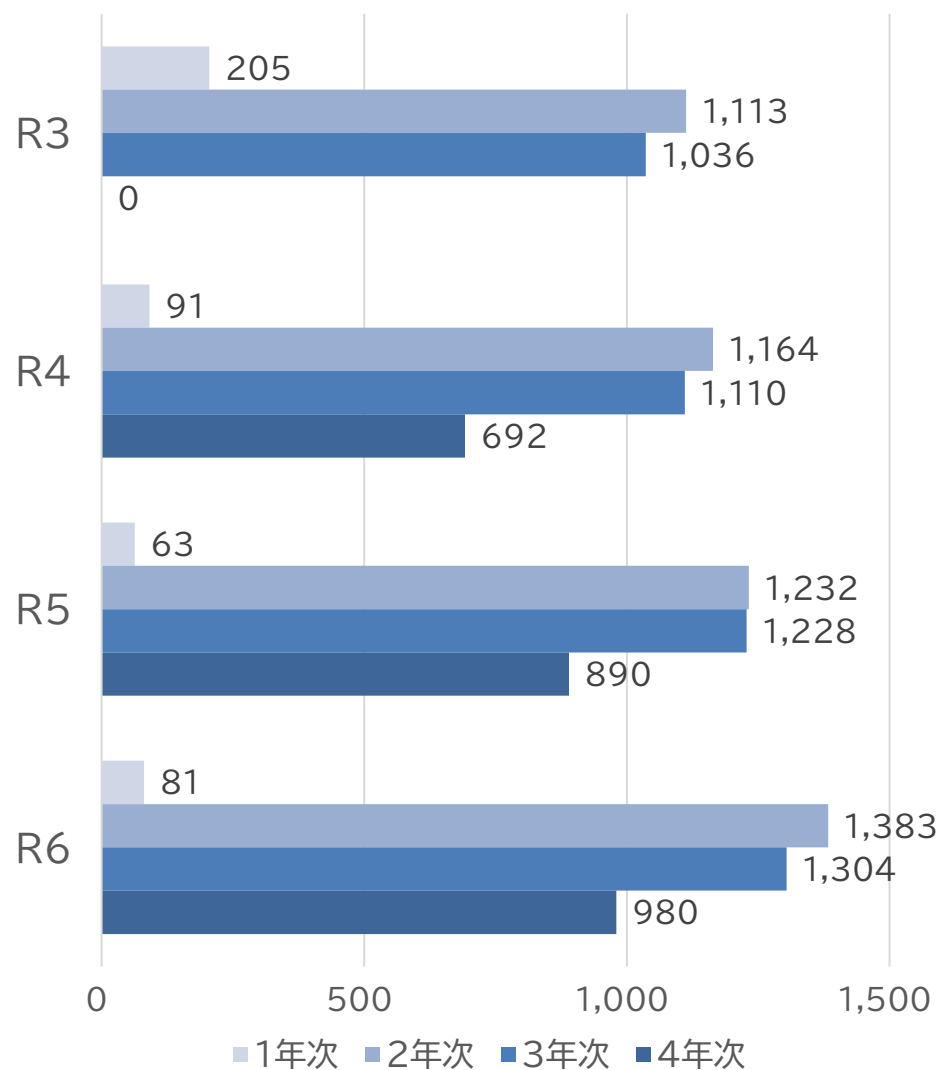


■ その他の内容

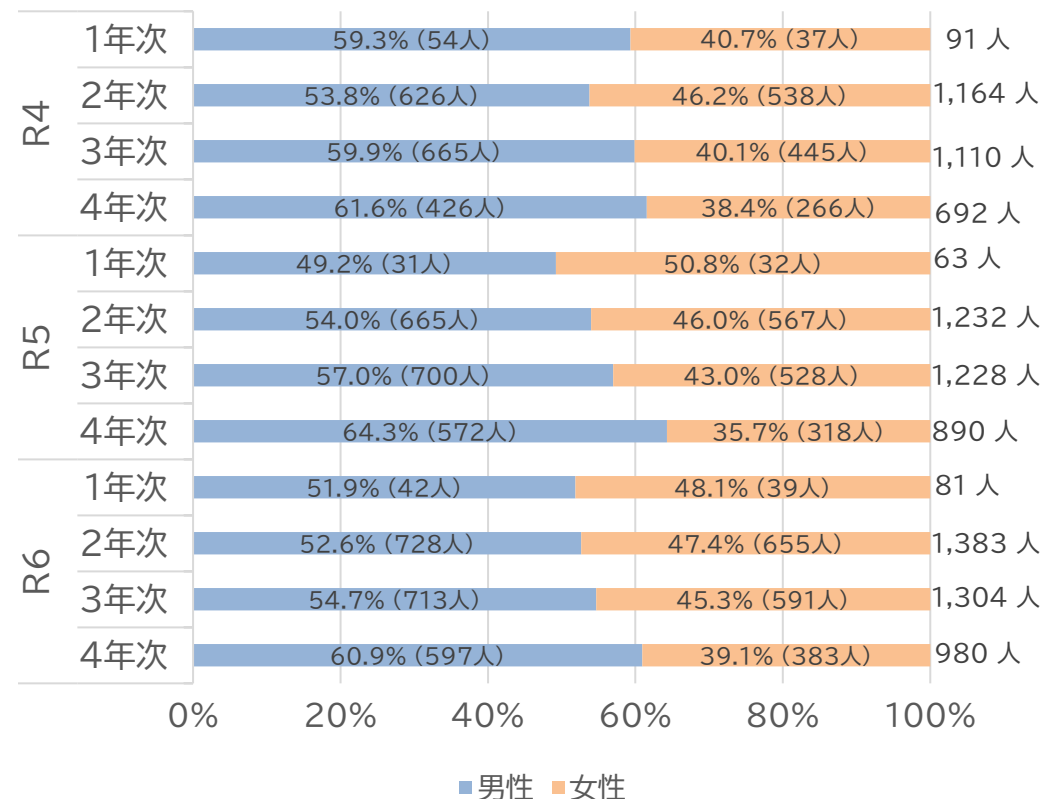
- 卒業できなかったため（R6：1コース）
- 経済的理由（R6：2コース）

6. 法曹コース在籍者数の推移（令和3年度～）

法曹コース在籍者数の推移(学年別)

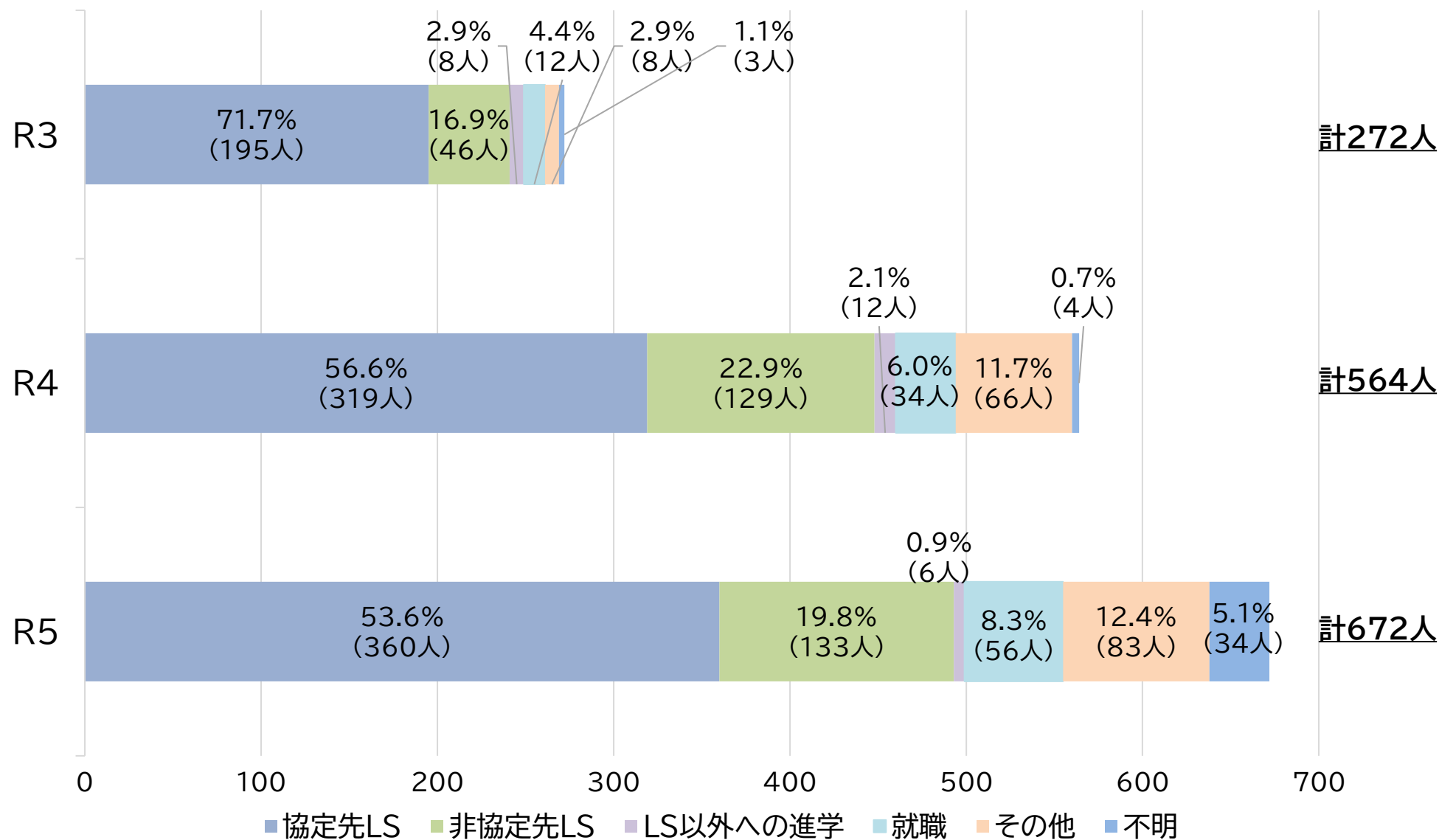


法曹コース在籍者の男女比推移(学年別)



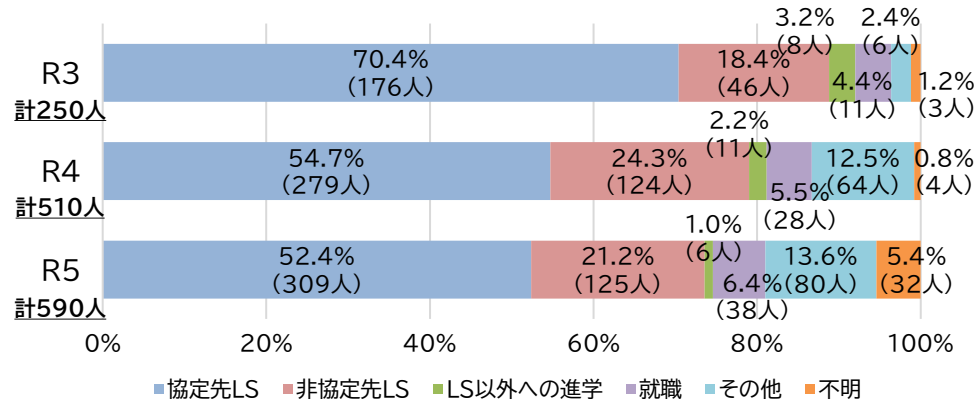
7. 法曹コース修了者の進路（全体）

法曹コース修了者の進路(全体)

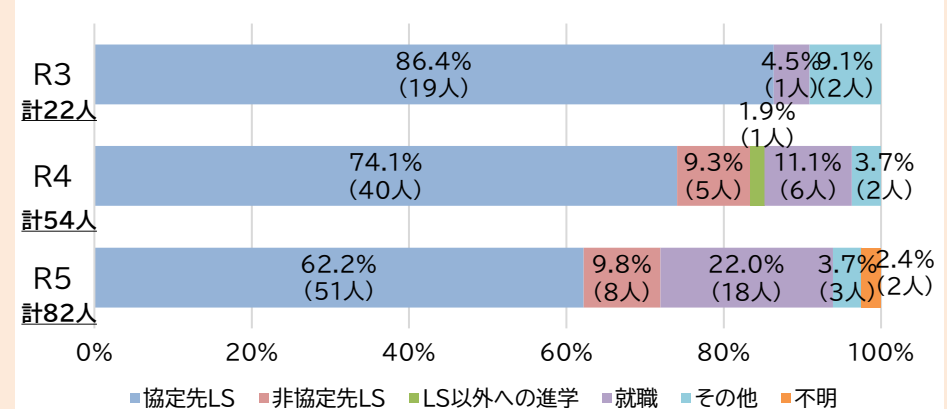


7. 法曹コース修了者の進路（法科大学院の有無別）

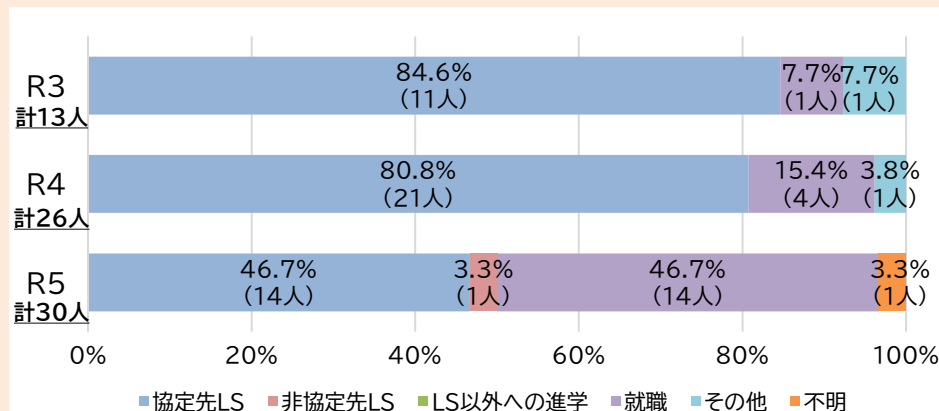
① 学内に法科大学院がある
法曹コース（32コース）の進路



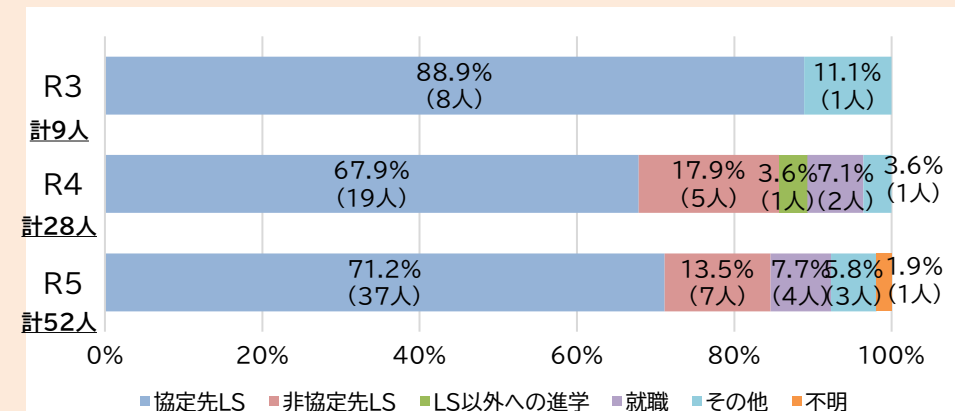
② 学内に法科大学院がない
法曹コース（10コース）の進路



③ 学内に法科大学院がなく、同一都道府県内に
法科大学院がある法曹コース（5コース）の進路



④ 学内に法科大学院がなく、同一都道府県内に
法科大学院がない法曹コース（5コース）の進路



I. 基礎情報

(参考①) 法曹コースの授業開始時期、登録時期、定員、学年別在籍者数

(令和6年5月1日時点) (単位:人)

法曹コースを置く 大学	法曹コース 開設年度	法曹コース 授業開始時期 (※1)	法曹コース登録 時期 (※1)	定員 (1学年あたり)	1年次			2年次			3年次			4年次		
					在籍者	早期卒業 希望者	特別選抜 希望者	在籍者	早期卒業 希望者	特別選抜 希望者	在籍者	早期卒業 希望者	特別選抜 希望者	在籍者	早期卒業 希望者	特別選抜 希望者
1.北海道大学	R2	2年次前期	2年次後期	30人程度	0(0)	0(0)	0(0)	0(2)	0(2)	0(2)	29(22)	0(14)	0(22)	14(12)	0(12)	
2.東北大学	R2	1年次後期	2年次前期	30	0(0)	0(0)	0(0)	44(62)	0(0)	0(0)	61(46)	1(0)	1(0)	41(38)	10(0)	
3.千葉大学	R2	1年次後期	1年次後期	15人程度	0(0)	0(0)	0(0)	20(16)	0(0)	0(0)	14(9)	5(3)	2(2)	4(12)	3(7)	
4.東京大学	R2	2年次前期	3年次前期/後期 4年次前期/後期	なし	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	137(125)	12(25)	12(25)	235(207)	235(207)	
5.一橋大学	R2	1年次前期	2年次前期 3年次前期	25人程度	0(0)	0(0)	0(0)	28(29)	0(0)	0(0)	33(34)	21(8)	21(10)	29(26)	26(11)	
6.新潟大学	R2	1年次前期	2年次前期/後期 3年次前期/後期 4年次前期/後期	なし	0(0)	0(0)	0(0)	72(40)	72(40)	72(0)	21(31)	3(1)	3(1)	16(10)	2(4)	
7.金沢大学	R2	1年次後期	1年次前期	30	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	18(22)	2(4)	2(4)	16(9)	0(0)	
8.信州大学	R2	2年次前期	2年次前期(9月)	10	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	5(3)	5(2)	5(2)	1(2)	0(0)	
9.名古屋大学	R2	1年次後期	1年次後期	20	0(0)	0(0)	0(0)	52(38)	0(0)	0(0)	37(44)	0(0)	0(0)	44(0)	0(0)	
10.京都大学	R2	1年次前期	3年次前期/後期	なし	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	49(51)	37(40)	49(51)	48(42)	48(42)	
11.大阪大学	R2	1年次後期	2年次前期 3年次前期 4年次前期	2年次30人程度 3年次20人程度	0(0)	0(0)	0(0)	31(32)	14(22)	31(32)	26(21)	17(6)	26(21)	16(22)	16(22)	
12.神戸大学	R2	2年次前期	2年次前期 3年次前期	40人程度	0(0)	0(0)	0(0)	40(34)	0(0)	0(0)	39(40)	39(18)	39(18)	34(23)	34(23)	
13.岡山大学	R2	2年次前期	2年次前期	40人程度	0(0)	0(0)	0(0)	28(28)	0(0)	0(0)	20(24)	5(3)	0(0)	18(14)	0(0)	
14.広島大学	R3	2年次前期	2年次前期	なし	0(0)	0(0)	0(0)	30(35)	0(0)	0(0)	24(13)	5(0)	0(0)	10(6)	0(0)	
15.香川大学	R5	1年次後期	1年次後期 (2~3月)	15	0(0)	0(0)	0(0)	15(16)	0(0)	0(0)	13(0)	4(0)	4(0)	0(0)	0(0)	
16.九州大学	R2	1年次後期	2年次後期	30人程度	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	24(27)	11(9)	22(27)	17(10)	17(10)	
17.熊本大学	R2	2年次前期	2年次前期	20	0(0)	0(0)	0(0)	20(13)	0(0)	20(13)	9(17)	0(1)	9(17)	13(10)	13(10)	
18.鹿児島大学	R2	1年次前期	1年次後期(3月) 2年次後期(3月)	なし	0(0)	0(0)	0(0)	11(10)	0(0)	0(10)	8(8)	4(3)	4(3)	5(1)	5(0)	
19.琉球大学	R6	2年次前期	1年次後期	定めない (5~9名想定)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	
20.東京都立大学	R2	1年次前期	2年次前期	20人程度	0(0)	0(0)	0(0)	21(21)	0(0)	0(0)	14(11)	14(6)	14(6)	10(3)	10(3)	
21.大阪公立大学	R2	1年次後期	2年次後期 以降、学期毎	20	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	3(3)	3(3)	3(3)	2(3)	2(3)	

I. 基礎情報

(参考①) 法曹コースの授業開始時期、登録時期、定員、学年別在籍者数

法曹コースを置く 大学	法曹コース 開設年度	法曹コース授業 開始時期 (※1)	法曹コース 登録時期 (※1)	定員(1学年 あたり)	1年次 在籍者	2年次		2年次		3年次 在籍者	3年次		4年次 在籍者	4年次	
						早期卒業 希望者	特別選抜 希望者	早期卒業 希望者	特別選抜 希望者		早期卒業 希望者	特別選抜 希望者			
22.北海学園大学	R2	2年次前期	2年次前期	なし	0(0)	0(0)	0(0)	10(14)	10(14)	10(14)	16(21)	8(7)	16(21)	3(12)	6(12)
23.学習院大学	R5	1年次前期	2年次前期	なし	0(0)	0(0)	0(0)	15(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
24.慶應義塾大学	R2	1年次前期	—	なし	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	48(44)	48(36)	48(36)	0(0)	0(0)
25.上智大学	R2	2年次前期	2年次前期	30	0(0)	0(0)	0(0)	24(23)	24(23)	24(23)	19(15)	17(15)	17(15)	2(6)	1(6)
26.専修大学	R6	2年次前期	1年次後期	15	0(－)	0(－)	0(－)	12(－)	12(－)	12(－)	14(－)	7(－)	7(－)	0(－)	0(－)
27.創価大学	R2	1年次前期	1年次前期 2年次前期	25	21(24)	0(0)	0(0)	21(23)	0(0)	0(0)	21(16)	1(0)	1(0)	15(13)	14(13)
28.中央大学	R2	2年次前期	2年次前期	なし	0(0)	0(0)	0(0)	187(159)	159(159)	159(159)	78(50)	50(50)	50(50)	12(43)	12(43)
29.日本大学	R2	その他	その他	なし	60(39)	0(0)	0(39)	32(28)	7(1)	7(28)	24(42)	1(0)	1(42)	46(36)	0(36)
30.法政大学	R2	2年次前期	2年次前期	20	0(0)	0(0)	0(0)	24(20)	0(0)	0(0)	14(13)	8(7)	10(7)	7(5)	7(5)
31.明治大学	R2	1年次前期	2年次前期	80	0(0)	0(0)	0(0)	185(143)	0(0)	0(0)	96(88)	13(3)	12(3)	90(90)	2(5)
32.明治学院大学	R2	1年次前期	2年次前期	30	0(0)	0(0)	0(0)	28(39)	28(39)	28(39)	13(10)	12(10)	13(10)	3(2)	0(1)
33.立教大学	R2	2年次前期	2年次前期	20人程度	0(0)	0(0)	0(0)	19(16)	0(0)	0(0)	16(12)	0(0)	0(0)	3(1)	0(0)
34.早稲田大学	R2	1年次前期	1年次後期 以降、学期毎	なし	0(0)	0(0)	0(0)	187(197)	0(0)	0(0)	156(145)	34(25)	34(25)	90(97)	90(97)
35.愛知大学	R3	2年次前期	2年次前期	5人程度	0(0)	0(0)	0(0)	3(3)	3(0)	3(0)	1(3)	1(0)	1(0)	2(0)	2(0)
36.同志社大学	R2	1年次前期	—	50	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	30(36)	74(36)	30(36)	0(1)	0(1)
37.立命館大学	R2	1年次前期	2年次前期	なし(※6)	0(0)	0(0)	0(0)	89(77)	22(15)	89(77)	57(70)	25(20)	57(70)	42(53)	42(34)
38.関西大学	R2	2年次前期	2年次前期	50人程度	0(0)	0(0)	0(0)	45(52)	0(0)	0(0)	53(44)	22(13)	0(0)	43(42)	0(0)
39.関西学院大学	R2	1年次後期	2年次前期	50	0(0)	0(0)	0(0)	35(31)	0(不明)	0(不明)	40(41)	14(16)	15(6)	27(13)	0(5)
40.近畿大学	R5	2年次前期	2年次前期	30人程度	0(0)	0(0)	0(0)	25(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
41.西南学院大学	R2	2年次前期	2年次前期	30	0(0)	0(0)	0(0)	30(30)	14(0)	27(0)	23(23)	1(6)	12(0)	19(22)	5(0)
42.福岡大学	R2	2年次前期	1年次後期(3月)	10	0(0)	0(0)	0(0)	0(1)	0(1)	0(1)	1(4)	1(2)	1(2)	3(4)	3(4)
					81(63)	0(0)	0(39)	1,383 (1,232)	365 (316)	482 (398)	1,304 (1,228)	525 (392)	541 (535)	980 (890)	605 (616)

※1 法曹コース授業開始時期の前期は「4月～9月」、後期は「10月～3月」を指す。
※2 学年別在籍者数は令和6年5月1日時点の在籍者数。() 内は令和5年5月1日時点の在籍者数。
※3 慶應義塾大学は登録制ではないため、在籍者数については、早期卒業希望者の数として大学が把握している数を記載。
※4 同志社大学は登録制ではないため、在籍者数については、法曹コース利用希望者の数として大学が把握している数を記載。
※5 立命館大学の法曹コースは定員を設けていないが、「司法特修」(法曹等を目指す学生向けのプログラム)を選択する学生のみが登録することができ、「司法特修」の定員は105名となっている。

(参考②) 令和 6 年度法曹コース 女性の学年別在籍者数・割合

下段（青字）は女性の数、割合を示している。（令和 6 年 5 月 1 日時点）（単位：人）

法曹コース を置く大学	1 年次 在籍者			2 年次 在籍者			3 年次 在籍者			4 年次 在籍者	
	早期卒業 希望者	特別選抜 希望者		早期卒業 希望者	特別選抜 希望者		早期卒業 希望者	特別選抜 希望者		特別選抜 希望者	
1.北海道大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	29 7(24.1)	0 0(-)	0 0(-)	14 2(14.3)	0 0(-)
2.東北大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	44 18(40.9)	0 0(-)	0 0(-)	61 18(29.5)	1 0(0.0)	1 0(0.0)	41 13(31.7)	10 4(40.0)
3.千葉大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	20 5(25.0)	0 0(-)	0 0(-)	14 9(64.3)	5 4(80.0)	2 2(100.0)	4 3(75.0)	3 2(66.7)
4.東京大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	137 48(35.0)	12 5(41.7)	12 5(41.7)	235 65(27.7)	235 65(27.7)
5.一橋大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	28 15(53.6)	0 0(-)	0 0(-)	33 10(30.3)	21 8(38.1)	21 8(38.1)	29 16(55.2)	26 15(57.7)
6.新潟大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	72 35(48.6)	72 35(48.6)	72 35(48.6)	21 6(28.6)	3 1(33.3)	3 1(33.3)	16 7(43.8)	2 1(50.0)
7.金沢大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	18 8(44.4)	2 2(100.0)	2 2(100.0)	16 8(50.0)	0 0(-)
8.信州大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	5 4(80.0)	5 4(80.0)	5 4(80.0)	1 0(0.0)	0 0(-)
9.名古屋大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	52 25(48.1)	0 0(-)	0 0(-)	37 11(29.7)	0 0(-)	0 0(-)	44 18(40.9)	0 0(-)
10.京都大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	49 15(30.6)	37 13(35.1)	49 15(30.6)	48 18(37.5)	48 18(37.5)
11.大阪大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	31 12(38.7)	14 8(57.1)	31 12(38.7)	26 11(42.3)	17 7(41.2)	26 15(57.7)	16 9(56.3)	16 11(68.8)
12.神戸大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	40 24(60.0)	0 0(-)	0 0(-)	39 15(38.5)	39 15(38.5)	39 15(38.5)	34 16(47.1)	34 0(0.0)
13.岡山大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	28 20(71.4)	0 0(-)	0 0(-)	20 13(65.0)	5 2(40.0)	0 0(-)	18 9(50.0)	0 0(-)
14.広島大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	30 13(43.3)	0 0(-)	0 0(-)	24 13(54.2)	5 3(60.0)	0 0(-)	10 5(50.0)	0 0(-)
15.香川大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	15 4(26.7)	0 0(-)	0 0(-)	13 6(46.2)	4 2(50.0)	4 2(50.0)	0 0(-)	0 0(-)
16.九州大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	24 11(45.8)	11 6(54.5)	22 11(50.0)	17 11(64.7)	17 11(64.7)
17.熊本大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	20 15(75.0)	0 0(-)	20 15(75.0)	9 8(88.9)	0 0(-)	9 8(88.9)	13 4(30.8)	13 4(30.8)
18.鹿児島大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	11 8(72.7)	0 0(-)	0 0(-)	8 3(37.5)	4 2(50.0)	4 2(50.0)	5 3(60.0)	5 3(60.0)
19.琉球大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)
20.東京都立大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	21 11(52.4)	0 0(-)	0 0(-)	14 9(64.3)	14 9(64.3)	14 9(64.3)	10 4(40.0)	10 4(40.0)
21.大阪公立大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	10 5(50.0)	10 5(50.0)	10 5(50.0)	16 10(62.5)	8 6(75.0)	16 10(62.5)	3 0(0.0)	6 3(50.0)

※ 大阪公立大学（令和 4 年度に大阪市立大学と大阪府立大学を統合して新設）の 4 年次の在籍者数は大阪市立大学の在籍者数。

法曹コース を置く大学	1年次 在籍者			2年次 在籍者			3年次 在籍者			4年次 在籍者	
	早期卒業 希望者	特別選抜 希望者		早期卒業 希望者	特別選抜 希望者		早期卒業 希望者	特別選抜 希望者		特別選抜 希望者	
22.北海学園大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	48 27(56.3)	48 27(56.3)	48 27(56.3)	0 0(-)	0 0(-)
23.学習院大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	15 9(60.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)
24.慶應義塾大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	48 27(56.3)	48 27(56.3)	48 27(56.3)	0 0(-)	0 0(-)
25.上智大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	24 20(83.3)	24 20(83.3)	24 20(83.3)	19 15(78.9)	17 13(76.5)	17 13(76.5)	2 0(0.0)	1 0(0.0)
26.専修大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	12 7(58.3)	12 7(58.3)	12 7(58.3)	14 7(50.0)	7 3(42.9)	7 3(42.9)	0 0(-)	0 0(-)
27.創価大学	21 8(38.1)	0 0(-)	0 0(-)	21 13(61.9)	0 0(-)	0 0(-)	21 8(38.1)	1 0(0.0)	1 0(0.0)	15 8(53.3)	14 7(50.0)
28.中央大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	187 84(44.9)	159 68(42.8)	159 68(42.8)	78 31(39.7)	50 21(42.0)	50 21(42.0)	12 5(41.7)	12 5(41.7)
29.日本大学	60 31(51.7)	0 0(-)	0 0(-)	32 15(46.9)	7 2(28.6)	7 2(28.6)	24 8(33.3)	1 1(100.0)	1 1(100.0)	46 21(45.7)	0 0(-)
30.法政大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	24 12(50.0)	0 0(-)	0 0(-)	14 9(64.3)	8 4(50.0)	10 6(60.0)	7 4(57.1)	7 4(57.1)
31.明治大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	185 62(33.5)	0 0(-)	0 0(-)	96 40(41.7)	13 6(46.2)	12 6(50.0)	90 33(36.7)	2 0(0.0)
32.明治学院大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	28 17(60.7)	28 17(60.7)	28 17(60.7)	13 9(69.2)	12 8(66.7)	13 9(69.2)	3 1(33.3)	0 0(-)
33.立教大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	19 11(57.9)	0 0(-)	0 0(-)	16 8(50.0)	0 0(-)	0 0(-)	3 1(33.3)	0 0(-)
34.早稲田大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	187 95(50.8)	0 0(-)	0 0(-)	156 77(49.4)	34 20(58.8)	34 20(58.8)	90 31(34.4)	90 31(34.4)
35.愛知大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	3 1(33.3)	3 1(33.3)	3 1(33.3)	1 1(100.0)	1 1(100.0)	1 1(100.0)	2 2(100.0)	2 2(100.0)
36.同志社大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	30 17(56.7)	74 39(52.7)	30 17(56.7)	0 0(-)	0 0(-)
37.立命館大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	89 37(41.6)	22 11(50.0)	89 37(41.6)	57 30(52.6)	25 13(52.0)	57 30(52.6)	42 17(40.5)	42 17(40.5)
38.関西大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	45 17(37.8)	0 0(-)	0 0(-)	53 26(49.1)	22 8(36.4)	0 0(-)	43 17(39.5)	0 0(-)
39.関西学院大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	35 20(57.1)	0 0(-)	0 0(-)	40 24(60.0)	14 9(64.3)	15 8(53.3)	27 21(77.8)	0 0(-)
40.近畿大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	25 8(32.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)
41.西南学院大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	30 17(56.7)	14 7(50.0)	27 15(55.6)	23 16(69.6)	1 0(0.0)	12 9(75.0)	19 9(47.4)	5 1(20.0)
42.福岡大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	1 0(0.0)	1 0(0.0)	1 0(0.0)	3 0(0.0)	3 0(0.0)
合計	81 39(48.1)	0 0(-)	0 0(-)	1,383 655(47.4)	365 181(49.6)	482 234(48.5)	1,304 591(45.3)	525 265(50.5)	541 283(52.3)	980 383(39.1)	605 210(34.7)

(参考③) 令和5年度法曹コースにおける、修了者数と進路

(単位：人)

法曹コースを置く 大学	令和5年度法曹コース修了者の進路(令和4年度法曹コース修了者の進路)																				
	修了生計			協定先の法科大学院に進学			非協定先の法科大学院に進学			法科大学院以外の大学院に進学			就職			その他			不明		
	3年次 修了者	4年次 修了者		3年次 修了者	4年次 修了者		3年次 修了者	4年次 修了者		3年次 修了者	4年次 修了者		3年次 修了者	4年次 修了者		3年次 修了者	4年次 修了者		3年次 修了者	4年次 修了者	
1.北海道大学	6(16)	3(5)	3(11)	2(12)	1(5)	1(7)	3(4)	2(0)	1(4)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
2.東北大学	17(18)	1(2)	16(16)	11(11)	1(2)	10(9)	5(2)	0(0)	5(2)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(4)	0(0)	0(4)	0(0)	0(0)	0(0)
3.千葉大学	14(7)	2(2)	12(5)	5(2)	1(2)	4(0)	3(1)	1(0)	2(1)	0(0)	0(0)	0(0)	6(4)	0(0)	6(4)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
4.東京大学	121 (73)	13(9)	108 (64)	59(45)	13(9)	46(36)	14(3)	0(0)	14(3)	0(0)	0(0)	0(0)	11(7)	0(0)	11(7)	35(17)	0(0)	35(17)	2(1)	0(0)	2(1)
5.一橋大学	25(23)	6(9)	19(14)	21(16)	6(8)	15(8)	0(2)	0(0)	0(2)	0(0)	0(0)	0(0)	3(2)	0(0)	3(2)	0(3)	0(1)	0(2)	1(0)	0(0)	1(0)
6.新潟大学	9(11)	1(2)	8(9)	5(5)	1(2)	4(3)	0(3)	0(0)	0(3)	0(1)	0(0)	0(1)	3(2)	0(0)	3(2)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)
7.金沢大学	5(3)	4(2)	1(1)	4(2)	4(2)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
8.信州大学	2(2)	2(2)	0(0)	2(2)	2(2)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
9.名古屋大学	2(0)	2(0)	0(0)	2(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
10.京都大学	21(26)	8(14)	13(12)	18(24)	8(14)	10(10)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)	0(0)	2(0)	0(2)	0(0)	0(2)	0(0)	0(0)	0(0)
11.大阪大学	26(21)	5(5)	21(16)	13(8)	2(3)	11(5)	10(8)	3(2)	7(6)	0(0)	0(0)	0(0)	1(5)	0(0)	1(5)	2(0)	0(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)
12.神戸大学	15(19)	6(11)	9(8)	11(11)	5(6)	6(5)	2(5)	1(4)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	2(1)	0(0)	2(1)	0(1)	0(0)	0(1)	0(1)	0(1)	0(0)
13.岡山大学	12(12)	0(1)	12(11)	6(6)	0(1)	6(5)	5(4)	0(0)	5(4)	0(1)	0(0)	0(1)	0(1)	0(0)	0(1)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
14.広島大学	6(2)	0(2)	6(0)	2(1)	0(1)	2(0)	2(1)	0(1)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)	0(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)
15.香川大学	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
16.九州大学	7(14)	2(2)	5(12)	3(7)	1(0)	2(7)	4(7)	1(2)	3(5)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
17.熊本大学	9(9)	1(3)	8(6)	7(7)	1(3)	6(4)	0(1)	0(0)	0(1)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)
18.鹿児島大学	3(6)	3(2)	0(4)	3(5)	3(2)	0(3)	0(1)	0(0)	0(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
19.東京都立大学	4(5)	1(0)	3(5)	4(4)	1(0)	3(4)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(1)	0(0)	0(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
20.大阪公立大学	6(1)	3(0)	3(1)	2(0)	0(0)	2(0)	4(0)	3(0)	1(0)	0(1)	0(0)	0(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

※ () 内は令和4年度法曹コース修了者の値 (令和5年5月1日時点で把握している数値)
※ 大阪公立大学 (令和4年度に大阪市立大学と大阪府立大学を統合して新設) の令和5年度法曹コース修了者数は大阪市立大学の修了者数。

(次ページ続く)

(参考③) 令和5年度法曹コースにおける、修了者数と進路

(単位：人)

法曹コースを置く大学	令和5年度法曹コース修了者の進路(令和4年度法曹コース修了者の進路)																				
	修了生計			協定先の法科大学院に進学			非協定先の法科大学院に進学			法科大学院以外の大学院に進学			就職			その他			不明		
		3年次修了者	4年次修了者		3年次修了者	4年次修了者		3年次修了者	4年次修了者		3年次修了者	4年次修了者		3年次修了者	4年次修了者		3年次修了者	4年次修了者		3年次修了者	4年次修了者
21.北海学園大学	6(7)	4(2)	2(5)	4(3)	3(0)	1(3)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(3)	1(1)	0(2)	0(1)	0(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
22.学習院大学	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
23.慶應義塾大学	30(23)	29(23)	1(0)	29(21)	28(21)	1(0)	1(2)	1(2)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
24.上智大学	14(10)	9(6)	5(4)	5(8)	5(6)	0(2)	9(0)	4(0)	5(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(2)	0(0)	0(2)
25.創価大学	13(19)	0(2)	13(17)	11(16)	0(2)	11(14)	0(1)	0(0)	0(1)	0(1)	0(0)	0(1)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)
26.中央大学	55(66)	45(44)	10(22)	13(16)	8(9)	5(7)	35(48)	30(35)	5(13)	0(0)	0(0)	0(0)	0(2)	0(0)	0(2)	7(0)	7(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
27.日本大学	32(2)	0(2)	32(0)	7(1)	0(1)	7(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(1)	0(1)	0(0)	25(0)	0(0)	25(0)
28.法政大学	10(14)	5(7)	5(7)	4(6)	3(6)	1(0)	2(3)	1(1)	1(2)	0(3)	0(0)	0(3)	2(2)	0(0)	2(2)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)
29.明治大学	7(10)	3(4)	4(6)	6(6)	3(4)	3(2)	1(2)	0(0)	1(2)	0(1)	0(0)	0(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(1)	0(0)	0(1)	0(0)	0(0)	0(0)
30.明治学院大学	5(7)	5(7)	0(0)	5(7)	5(7)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
31.立教大学	4(3)	3(3)	1(0)	3(3)	3(3)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)
32.早稲田大学	69(41)	14(10)	55(31)	41(23)	13(7)	28(16)	16(12)	1(1)	15(11)	1(0)	0(0)	1(0)	4(1)	0(0)	4(1)	7(5)	0(2)	7(3)	0(0)	0(0)	0(0)
33.愛知大学	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
34.同志社大学	28(15)	25(13)	3(2)	22(4)	20(3)	2(1)	6(11)	5(10)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
35.立命館大学	29(21)	8(8)	21(13)	18(15)	7(8)	11(7)	7(5)	1(0)	6(5)	1(1)	0(0)	1(1)	2(0)	0(0)	2(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
36.関西大学	34(36)	28(34※2)	6(2)	2(4)	0(4)	2(0)	1(2)	1(2)	0(0)	2(1)	2(0)	0(1)	3(1)	0(0)	3(1)	26(28)	25(28)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
37.関西学院大学	7(11)	5(11)	2(0)	5(8)	5(8)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(1)	0(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(2)	0(2)	0(0)	2(0)	0(0)	2(0)
38.近畿大学	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
39.西南学院大学	15(9)	2(5)	13(4)	2(8)	2(5)	0(3)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	13(1)	0(0)	13(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
40.福岡大学	3(2)	1(2)	2(0)	3(2)	1(2)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
合計	672(564)	249(256)	423(308)	360(319)	158(158)	202(161)	133(129)	55(60)	78(69)	6(12)	2(1)	4(11)	56(34)	1(1)	55(33)	83(66)	33(35)	50(31)	34(4)	0(1)	34(3)

※ 関西大学の令和4年度3年次法曹コース修了者34人のうち、早期卒業者は7人。

I. 基礎情報

(参考④) 令和5年度法曹コースにおける、女性の修了者と進路

(単位：人)

法曹コースを置く 大学	上段：令和5年度法曹コース修了者数																		下段：女性の修了者（合計に占める割合（％））					
	修了生計			協定先の 法科大学院に進学			非協定先の 法科大学院に進学			法科大学院以外の 大学院に進学			就職			その他			不明					
3年次 修了者	4年次 修了者	3年次 修了者	4年次 修了者	3年次 修了者	4年次 修了者	3年次 修了者	4年次 修了者	3年次 修了者	4年次 修了者	3年次 修了者	4年次 修了者	3年次 修了者	4年次 修了者	3年次 修了者	4年次 修了者	3年次 修了者	4年次 修了者	3年次 修了者	4年次 修了者					
1.北海道大学	6 1(16.7)	3 1(33.3)	3 0(0.0)	2 0(0.0)	1 0(0.0)	1 0(0.0)	3 1(33.3)	2 1(50.0)	1 0(0.0)	1 0(0.0)	0 0(-)	1 0(0.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)				
2.東北大学	17 5(29.4)	1 0(0.0)	16 5(31.3)	11 4(36.4)	1 0(0.0)	10 4(40.0)	5 1(20.0)	0 0(-)	5 1(20.0)	1 0(0.0)	0 0(-)	1 0(0.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)				
3.千葉大学	14 3(21.4)	2 0(0.0)	12 3(25.0)	5 1(20.0)	1 0(0.0)	4 1(25.0)	3 1(33.3)	1 0(0.0)	2 1(50.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	6 1(16.7)	0 0(-)	6 1(16.7)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)				
4.東京大学	121 33(27.3)	13 5(38.5)	108 28(25.9)	59 17(28.8)	13 5(38.5)	46 12(26.1)	14 5(35.7)	0 0(-)	14 5(35.7)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	11 4(36.4)	0 0(-)	11 4(36.4)	35 7(20.0)	0 0(-)	35 7(20.0)	2 0(0.0)	0 0(0.0)				
5.一橋大学	25 11(44.0)	6 3(50.0)	19 8(42.1)	21 10(47.6)	6 3(50.0)	15 7(46.7)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	3 1(33.3)	0 0(-)	3 1(33.3)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	1 0(0.0)	0 0(0.0)				
6.新潟大学	9 3(33.3)	1 0(0.0)	8 3(37.5)	5 3(60.0)	1 0(0.0)	4 3(75.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	3 0(0.0)	0 0(-)	3 0(0.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	1 0(0.0)	0 0(0.0)				
7.金沢大学	5 1(20.0)	4 1(25.0)	1 0(0.0)	4 1(25.0)	4 0(-)	0 0(-)	1 0(0.0)	0 0(-)	1 0(0.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)				
8.信州大学	2 1(50.0)	2 1(50.0)	0 0(-)	2 1(50.0)	2 1(50.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)				
9.名古屋大学	2 1(50.0)	2 1(50.0)	0 0(-)	2 1(50.0)	2 1(50.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)				
10.京都大学	21 6(28.6)	8 2(25.0)	13 4(30.8)	18 6(33.3)	8 2(25.0)	10 4(40.0)	1 0(0.0)	0 0(-)	1 0(0.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	2 0(0.0)	0 0(-)	2 0(0.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)				
11.大阪大学	26 15(57.7)	5 2(40.0)	21 13(61.9)	13 5(38.5)	2 0(0.0)	11 5(45.5)	10 8(80.0)	3 2(66.7)	7 6(85.7)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	1 1(100.0)	0 0(-)	1 1(100.0)	2 1(50.0)	0 0(-)	2 1(50.0)	0 0(-)	0 0(-)				
12.神戸大学	15 9(60.0)	6 2(33.3)	9 7(77.8)	11 6(54.5)	5 2(40.0)	6 4(66.7)	2 1(50.0)	1 0(0.0)	1 1(100.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	2 2(100.0)	0 0(-)	2 2(100.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)				
13.岡山大学	12 3(25.0)	0 0(-)	12 3(25.0)	6 2(33.3)	0 0(-)	6 2(33.3)	5 1(20.0)	0 0(-)	5 1(20.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	1 0(0.0)	0 0(-)	1 0(0.0)	0 0(-)	0 0(-)				
14.広島大学	6 1(16.7)	0 0(-)	6 1(16.7)	2 0(0.0)	0 0(-)	2 0(0.0)	2 0(0.0)	0 0(-)	2 0(0.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	2 1(50.0)	0 0(-)	2 1(50.0)	0 0(-)	0 0(-)				
15.香川大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)				
16.九州大学	7 4(57.1)	2 0(0.0)	5 4(80.0)	3 2(66.7)	1 0(0.0)	2 2(100.0)	4 2(50.0)	1 0(0.0)	3 2(66.7)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)				
17.熊本大学	9 4(44.4)	1 1(100.0)	8 3(37.5)	7 4(57.1)	1 1(100.0)	6 3(50.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	1 0(0.0)	0 0(-)	1 0(0.0)	1 0(0.0)	0 0(-)	1 0(0.0)	0 0(-)	0 0(-)				
18.鹿児島大学	3 0(0.0)	3 0(0.0)	0 0(-)	3 0(0.0)	3 0(0.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)				
19.東京都立大学	4 4(100.0)	1 1(100.0)	3 3(100.0)	4 4(100.0)	1 1(100.0)	3 3(100.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)				
20.大阪公立大学	6 3(50.0)	3 1(33.3)	3 2(66.7)	2 1(50.0)	0 0(-)	2 1(50.0)	4 2(50.0)	3 1(33.3)	1 1(100.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)				

(参考④) 令和5年度法曹コースにおける、女性の修了者と進路

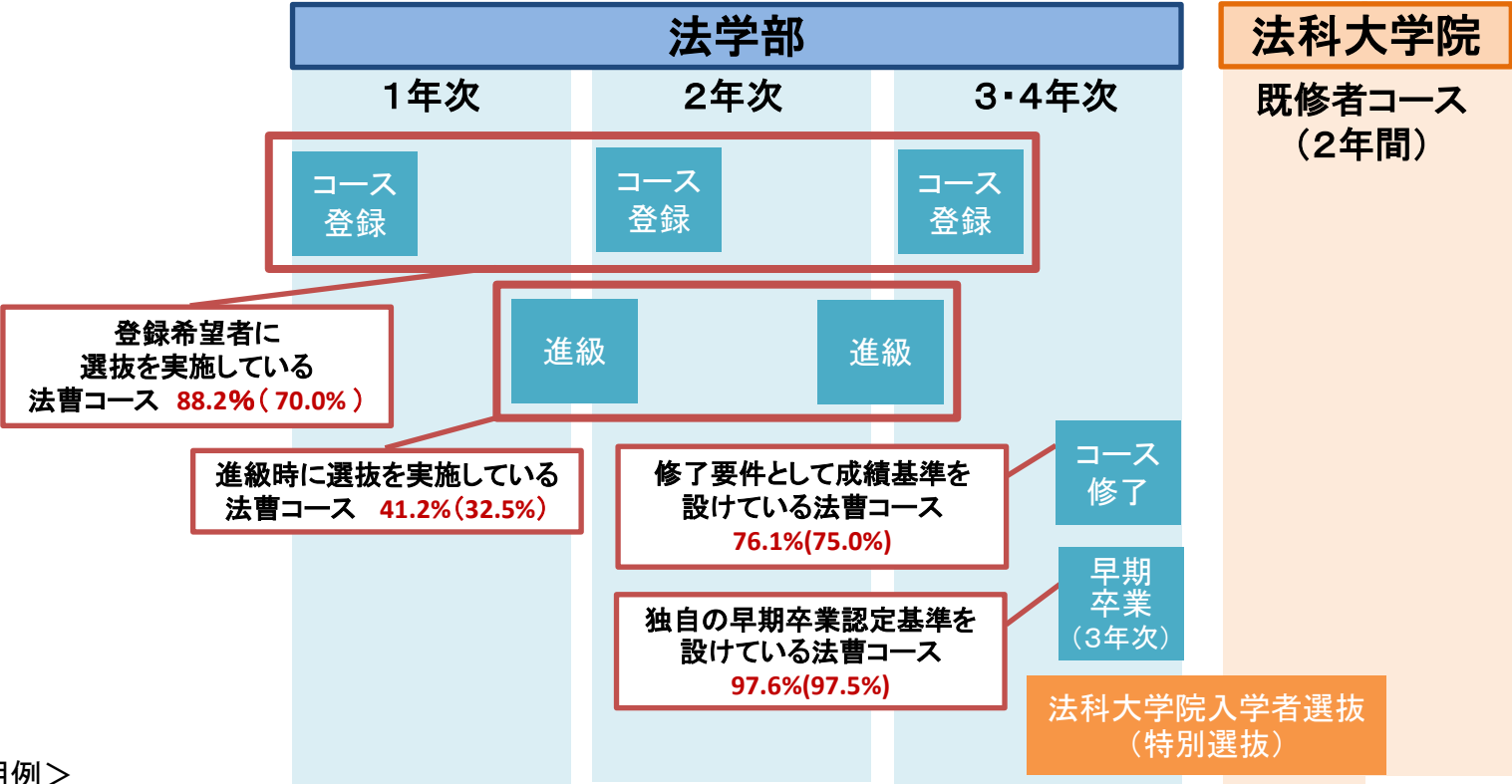
(単位：人)

法曹コースを置く 大学	上段: 令和5年度法曹コース修了者数 下段: 女性の修了者(合計に占める割合(%))																				
	修了生計			協定先の 法科大学院に進学			非協定先の 法科大学院に進学			法科大学院以外の 大学院に進学			就職			その他			不明		
	3年次 修了者	4年次 修了者	3年次 修了者	4年次 修了者	3年次 修了者	4年次 修了者	3年次 修了者	4年次 修了者	3年次 修了者	4年次 修了者	3年次 修了者	4年次 修了者	3年次 修了者	4年次 修了者	3年次 修了者	4年次 修了者	3年次 修了者	4年次 修了者			
21.北海学園大学	6 3(50.0)	4 3(75.0)	2 0(0.0)	4 2(50.0)	3 2(66.7)	1 0(0.0)	1 0(0.0)	0 0(-)	1 0(0.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	1 1(100.0)	1 1(100.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	
22.学習院大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	
23.慶應義塾大学	30 18(60.0)	29 17(58.6)	1 1(100.0)	29 17(58.6)	28 16(57.1)	1 1(100.0)	1 1(100.0)	1 1(100.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	
24.上智大学	14 11(78.6)	9 7(77.8)	5 4(80.0)	5 4(80.0)	5 4(80.0)	0 0(-)	9 7(77.8)	4 3(75.0)	5 4(80.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	
25.創価大学	14 11(78.6)	0 0(-)	14 11(78.6)	11 8(72.7)	0 0(-)	11 8(72.7)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	2 2(100.0)	0 0(-)	2 2(100.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	1 1(100.0)	0 0(-)	1 1(100.0)
26.中央大学	55 26(47.3)	45 20(44.4)	10 6(60.0)	13 8(61.5)	8 5(62.5)	5 3(60.0)	35 14(40.0)	30 11(36.7)	5 3(60.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	7 4(57.1)	7 4(57.1)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	
27.日本大学	32 7(21.9)	0 0(-)	32 7(21.9)	7 3(42.9)	0 0(-)	7 3(42.9)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	25 4(16.0)	0 0(-)	25 4(16.0)
28.法政大学	10 6(60.0)	5 5(100.0)	5 1(20.0)	4 3(75.0)	3 3(100.0)	1 0(0.0)	2 1(50.0)	1 1(100.0)	1 0(0.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	2 1(50.0)	0 0(-)	2 1(50.0)	1 1(100.0)	1 1(100.0)	0 0(-)	1 0(0.0)	0 0(-)	1 0(0.0)
29.明治大学	7 5(71.4)	3 2(66.7)	4 3(75.0)	6 4(66.7)	3 2(66.7)	3 2(66.7)	1 1(100.0)	0 0(-)	1 1(100.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	
30.明治学院大学	5 2(40.0)	5 2(40.0)	0 0(-)	5 2(40.0)	5 2(40.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	
31.立教大学	4 1(25.0)	3 1(33.3)	1 0(0.0)	3 1(33.3)	3 1(33.3)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	1 0(0.0)	0 0(-)	1 0(0.0)
32.早稲田大学	69 34(49.3)	14 10(71.4)	55 24(43.6)	41 18(43.9)	13 9(69.2)	28 9(32.1)	16 11(68.8)	1 1(100.0)	15 10(66.7)	1 1(100.0)	0 0(-)	1 1(100.0)	4 1(25.0)	0 0(-)	4 1(25.0)	7 3(42.9)	0 0(-)	7 3(42.9)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)
33.愛知大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)
34.同志社大学	28 10(35.7)	25 10(40.0)	3 0(0.0)	22 7(31.8)	20 7(35.0)	2 0(0.0)	6 3(50.0)	5 3(60.0)	1 0(0.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	
35.立命館大学	29 10(34.5)	8 1(12.5)	21 9(42.9)	18 6(33.3)	7 1(14.3)	11 5(45.5)	7 2(28.6)	1 0(0.0)	6 2(33.3)	1 1(100.0)	0 0(-)	1 1(100.0)	2 1(50.0)	0 0(-)	2 1(50.0)	1 0(0.0)	0 0(-)	1 0(0.0)	0 0(-)	0 0(-)	
36.関西大学	34 15(44.1)	28 14(50.0)	6 1(16.7)	2 1(50.0)	0 0(-)	2 1(50.0)	1 0(0.0)	1 0(0.0)	0 0(-)	2 2(100.0)	2 2(100.0)	0 0(-)	3 0(0.0)	0 0(-)	3 0(0.0)	26 12(46.2)	25 12(48.0)	1 0(0.0)	0 0(-)	0 0(-)	
37.関西学院大学	7 4(57.1)	5 2(40.0)	2 2(100.0)	5 2(40.0)	5 2(40.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	2 2(100.0)	0 0(-)	2 2(100.0)
38.近畿大学	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	
39.西南学院大学	15 10(66.7)	2 2(100.0)	13 8(61.5)	2 2(100.0)	2 2(100.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	13 8(61.5)	0 0(-)	13 8(61.5)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	
40.福岡大学	3 0(0.0)	1 0(0.0)	2 0(0.0)	3 0(0.0)	1 0(0.0)	2 0(0.0)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	0 0(-)	
合計	672 281(41.8)	249 117(47.0)	423 164(38.8)	360 156(43.3)	158 73(46.2)	202 83(41.1)	133 62(46.6)	55 24(43.6)	78 38(48.7)	6 4(66.7)	2 2(100.0)	4 2(50.0)	56 23(41.1)	1 1(100.0)	55 22(40.0)	83 29(34.9)	33 17(51.5)	50 12(24.0)	34 7(20.6)	0 0(-)	34 7(20.6)

Ⅱ. 法曹コースの登録・進級時の選抜、修了要件等

1. 概要

法曹コースを修了して法科大学院に入学する学生の質を保証するため、各協定において、法曹コース登録時・進級時における選抜の実施、法曹コース修了要件や独自の早期卒業認定基準の設定、法科大学院入学者選抜（特別選抜）の実施など、様々な仕組みが設けられている。



<取組例>

■ 一橋大学

- 2年又は3年進級時に登録。GPA上位者より選抜。法曹コース修了要件としてGPA基準を設定。早期卒業には、より高いGPA基準と法科大学院合格が要件。
- 連携先の一橋大学法科大学院の修了生の弁護士による「法律実務入門」を開講。授業外でもゼミナール形式の法律文書作成指導を実施。

■ 京都大学

- 登録時の選抜はなし。授業は1年前期から開始。法曹コース修了要件として成績基準を設定。早期卒業は法曹コース修了や法科大学院合格が要件。
- 連携先の京都大学法科大学院の実務家教員による「現代社会と裁判」を開講。法曹の役割への理解を深めるとともに、法科大学院教育への導入を図っている。

■ 中央大学

- 2年又は3年進級時に登録。2年終了時に選抜試験を実施。法曹コース修了要件にGPA基準を設定。早期卒業には、独自の認定試験と法科大学院への合格が要件。
- 学生が起案した法文書について、研究者教員と実務家教員が連携しながら、解説と添削を行う「実定法特講」と「法曹特講」を法曹コース必修科目として開設。

■ 明治学院大学

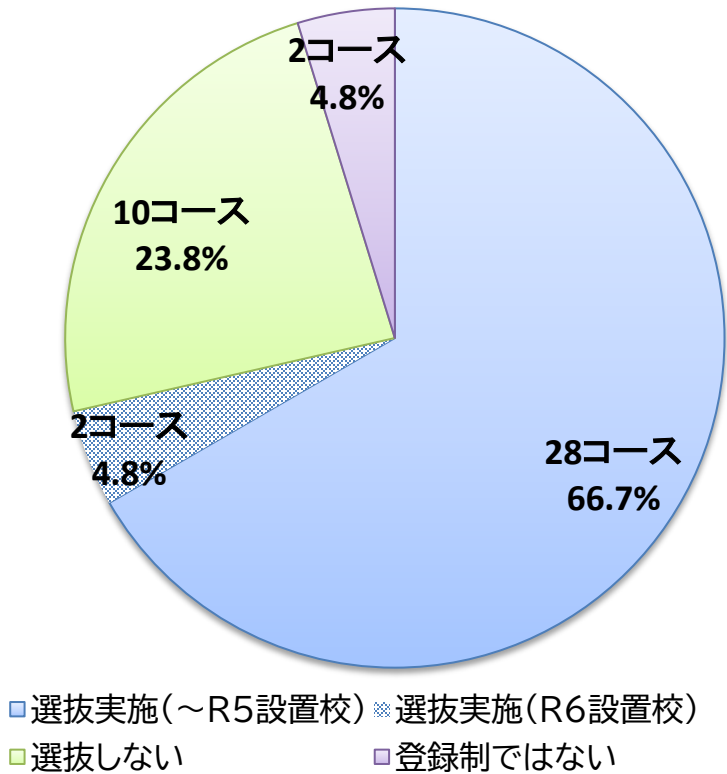
- 2年進級時に登録。面接を実施し法曹志望度や適性を把握。法曹コース修了要件としてGPA基準を設定。早期卒業は法曹コース修了や法科大学院合格が要件。
- 定期試験とは別に知識定着度確認試験（共通到達度確認試験・論文式試験）を実施し、一人一人の学生に結果を踏まえた学修指導を行っている。

※カッコ内は令和5年度調査の結果

2. 法曹コース登録時の選抜状況（全体）

法曹コースを希望する学生に対し、法曹コース登録時に選抜を行っていますか。行っている場合、どのような方法ですか。（複数回答可）

- ①応募要件に成績基準（GPA、修得単位数等）を設定
- ②成績による選抜
- ③法曹コースに登録するための選抜試験の実施
- ④個別面談による法曹志望度や適性の把握
- ⑤その他



■ 法曹コース登録時に選抜を実施（30コース）

＜選抜方法＞ ※下記のいずれか又は組み合わせにより実施

- ①応募要件に成績基準（GPA、修得単位数等）を設定（19コース）
(前年比+ 2 コース)
- ②成績による選抜（20コース）
(前年比+ 1 コース)
- ③法曹コースに登録するための選抜試験（ 5 コース）
(前年比±0コース)
- ④個別面談による志望度の把握（ 8 コース）
(前年比±0コース)
- ⑤その他（ 7 コース）
(前年比+ 1 コース)
- ・書類審査により志望理由等も考慮（千葉、上智、明治学院、関西）
- ・法学部内の特定のプログラム（コース）の在籍者のみ、法曹コースに登録することを認めており、当該プログラム（コース）の登録に際しては、選抜が実施されている（金沢、琉球、立命館）

(参考) 法曹コース登録時の選抜状況 (内訳)

法曹コースを置く大学	登録制	法曹コース登録時の選抜の有無	法曹コース登録時の選抜方法					選抜時期 (出願開始～結果公表)	定員
			①応募要件に成績基準を設定	②成績による選抜	③選抜試験の実施	④個別面談の実施	⑤その他		
1.北海道大学	○	×	-	-	-	-	-	-	30人程度
2.東北大学	○	×	-	-	-	-	-	-	30
3.千葉大学	○	○	○	○	×	○	○(※1)	1年次7～9月	15人程度
4.東京大学	○	×	-	-	-	-	-	-	なし
5.一橋大学	○	○	○	○	×	×	×	1年次3月、2年次3月	25人程度
6.新潟大学	○	×	-	-	-	-	-	-	なし
7.金沢大学	○	○(※2)	×	○(※2)	×	×	×	3年次4月	30
8.信州大学	○	○	○	○	×	×	×	2年次4～9月	10
9.名古屋大学	○	○	○	×	×	×	×	1年次12～3月	20
10.京都大学	○	×	-	-	-	-	-	-	なし
11.大阪大学	○	○	○	○	×	×	×	1年次3月 2年次3月 3年次3月	2年次30人程度 3年次20人程度
12.神戸大学	○	○	×	○	×	×	×	1年次2～3月 2年次2～3月	2年次40人程度 3年次40人程度
13.岡山大学	○	○	○	○	×	×	×	1年次1～3月	40人程度
14.広島大学	○	×	-	-	-	-	-	-	なし
15.香川大学	○	○	○	○	○	○	×	1年次2～3月	15
16.九州大学	○	○(※3)	×	○(※3)	×	×	×	-	30人程度
17.熊本大学	○	○	×	○	×	×	×	1年次6～9月、12～3月	20
18.鹿児島大学	○	○	○	×	×	×	×	1年次2～3月、2年次2～3月	なし
19.琉球大学	○	○	○	×	×	×	○(※4)	1年次3月(※4)	定めない (5～9名想定)
20.東京都立大学	○	○	×	○	×	×	×	1年次12～3月	20人程度
21.大阪公立大学	○	○	○	○	×	×	×	2年次3月、3年次9月 3年次3月、4年次9月	20

(注)

※1 千葉大学は書類審査及び面接審査を実施。

※2 金沢大学は1年次前期から3年次進級時のコース選択（総合法学コース、公共法政策コース、企業関係法コース）までは成績に関係なく希望者が法曹コースに登録することが可能であるが、3年次進級時に、登録者のうち、総合法学コース（GPA2.0以上等の要件あり）に配属された者が正式に法曹コースの登録者として確定することとなる。

※3 九州大学は登録希望者数が定員を超える場合には、一部の科目の成績及び単位修得状況により登録の可否を決定することとしている。

※4 琉球大学は2年次から法学プログラムに所属する学生を対象に選抜を実施。R6に法曹コース登録を志望する者がいなかったため、実際には選抜を実施していない。

(次ページ続く)

(参考) 法曹コース登録時の選抜状況（内訳）

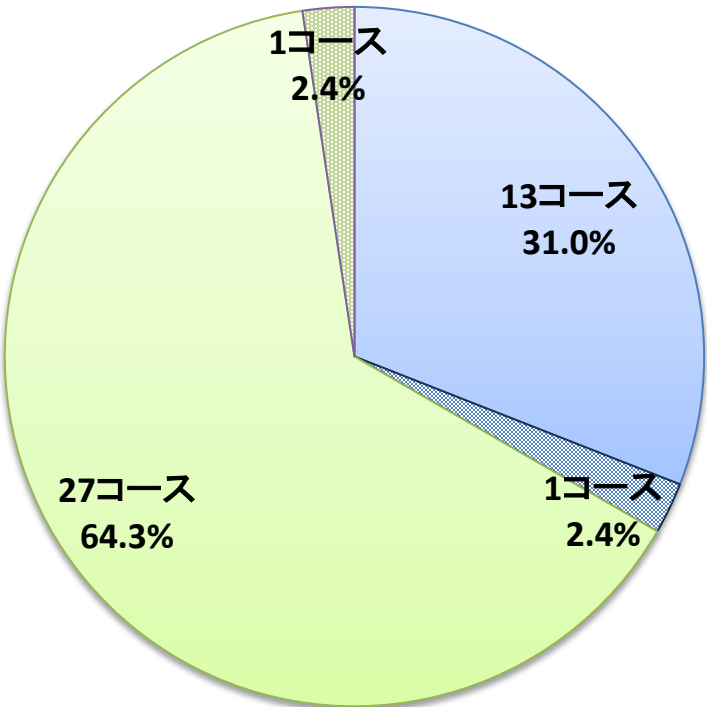
法曹コースを置く大学	登録制	法曹コース登録時の選抜の有無	法曹コース登録時の選抜方法					選抜時期 (出願開始～結果公表)	定員
			①応募要件に成績基準を設定	②成績による選抜	③選抜試験の実施	④個別面談の実施	⑤その他		
22.北海学園大学	○	×	-	-	-	-	-	-	なし
23.学習院大学	○	×	-	-	-	-	-	-	なし
24.慶應義塾大学	×	-	-	-	-	-	-	-	なし
25.上智大学	○	○	○	×	×	×	○(※1)	1年次12～3月	30
26.専修大学	○	○	○	○	×	×	×	1年次12～3月	15
27.創価大学	○	○	×	×	○	○	×	入学前12～3月 1年次2～3月	25
28.中央大学	○	○	○	×	○(※2)	×	×	1年次3月、2年次3月	なし
29.日本大学	○	○	○	○	○	○	×	入学時(入学者選抜の結果で選抜)、 1年次12～3月 2年次6～9月、12～3月	なし
30.法政大学	○	○	×	○	×	×	×	1年次1～3月	20
31.明治大学	○	×	-	-	-	-	-	-	80
32.明治学院大学	○	○	×	×	×	○	○(※1)	1年次1～2月	30
33.立教大学	○	○	○	○	×	×	×	1年次3月	20人程度
34.早稲田大学	○	×	-	-	-	-	-	-	なし
35.愛知大学	○	○	○	○	×	○	×	1年次9～3月	5人程度
36.同志社大学	×	-	-	-	-	-	-	-	50
37.立命館大学	○	○(※3)	×	×	×	×	○(※3)	「司法特修」の選抜時期は 1年次1～3月(※3)	なし
38.関西大学	○	○	×	○	×	×	○(※1)	1年次1～3月	50人程度
39.関西学院大学	○	○	○	○	×	×	×	1年次11～3月	50
40.近畿大学	○	○	×	×	×	○	×	1年次12～1月	30人程度
41.西南学院大学	○	○	○	○	×	×	×	1年次1～2月	30
42.福岡大学	○	○	○	○	○	○	×	1年次1～3月、2年次1～3月	10
合計	40	30	19	21	5	8	6		

(注)
※1 上智大学、明治学院大学、関西大学では、法曹を志す理由等を記載する「志望理由書」の内容も勘案している。
※2 中央大学は2年次進級時に出願する場合は、所定の修得単位数の修得を応募要件とし、3年次進級時に出願する場合は、所定の修得単位数を修得していること及びGPA基準を満たすことを応募要件とし、選抜試験を実施している。
※3 立命館大学の法曹コースは、「司法特修」（法曹等を目指す学生向けのプログラム）を選択する学生（定員105名）のみが登録することができ、「司法特修」には成績（GPA）による選抜がある。

2. 法曹コースにおける進級時の選抜状況（全体）

法曹コースに在籍する学生の進級時に、何らかの選抜を行っていますか。行っている場合、どのような方法ですか。（複数回答可）

- ①在学中の成績による選抜 ②法曹コース進級用の選抜試験の実施 ③個別面談による法曹志望度や適性の把握
④その他



■ 選抜あり(～R5設置校) ■ 選抜あり(R6設置校)
■ 選抜なし(～R5設置校) ■ 選抜なし(R6設置校)

■ 選抜方法（下記のいずれか又は組み合わせにより実施）

- ①在学中の成績による選抜（11コース）（前年比+1コース）
②法曹コース進級用の選抜試験の実施（1コース）
（前年比±0コース）
③個別面談による法曹志望度や適性の把握（4コース）
（前年比±0コース）
④その他（1コース）
（前年比±0コース）

・3年次進級時点で、適正を欠くと思われる者がいると判断した場合は、他のコースへ変更させる機会あり（明治）

(参考) 法曹コースにおける進級時の選抜状況（内訳）

法曹コースを置く大学	登録制	法曹コース登録時の選抜の有無	進級時の選抜の有無	進級時の選抜方法			
				①成績による選抜	②選抜試験の実施	③個別面談の実施	④その他
1.北海道大学	○	×	×	-	-	-	-
2.東北大学	○	×	×	-	-	-	-
3.千葉大学	○	○	○	○	×	×	×
4.東京大学	○	×	×	-	-	-	-
5.一橋大学	○	○	×	-	-	-	-
6.新潟大学	○	×	×	-	-	-	-
7.金沢大学	○	×	×	-	-	-	-
8.信州大学	○	○	○	○	×	×	×
9.名古屋大学	○	○	×	-	-	-	-
10.京都大学	○	×	×	-	-	-	-
11.大阪大学	○	○	○	○	×	×	×
12.神戸大学	○	○	○	○	×	×	×
13.岡山大学	○	○	×	-	-	-	-
14.広島大学	○	×	×	-	-	-	-
15.香川大学	○	○	×	-	-	-	-
16.九州大学	○	○(※1)	○	○	×	×	×
17.熊本大学	○	○	×	-	-	-	-
18.鹿児島大学	○	○	×	-	-	-	-
19.琉球大学	○	○	×	-	-	-	-
20.東京都立大学	○	○	○	○	×	○	×
21.大阪公立大学	○	○	×	-	-	-	-
22.北海学園大学	○	×	×	-	-	-	-
23.学習院大学	○	×	×	-	-	-	-
24.慶應義塾大学	×	-	-(※2)	-	-	-	-
25.上智大学	○	○	○	○	×	×	×
26.専修大学	○	○	○	○	×	×	×
27.創価大学	○	○	×	-	-	-	-
28.中央大学	○	○	○	×	○(※3)	×	×
29.日本大学	○	○	○	○	×	○	×
30.法政大学	○	○	×	-	-	-	-
31.明治大学	○	×	○	×	×	×	○(※4)
32.明治学院大学	○	○	○	×	×	○	×
33.立教大学	○	○	○	○	×	×	×
34.早稲田大学	○	×	×	-	-	-	-
35.愛知大学	○	○	×	-	-	-	-
36.同志社大学	×	-	-	-	-	-	-
37.立命館大学	○	○(※5)	×	-	-	-	-
38.関西大学	○	○	×	-	-	-	-
39.関西学院大学	○	○	×	-	-	-	-
40.近畿大学	○	○	×(※2)	-	-	-	-
41.西南学院大学	○	○	○	○	×	○	×
42.福岡大学	○	○	×	-	-	-	-
合計	40	29	14	11	1	4	1

(注)

※1 九州大学は登録希望者数が定員を超える場合には、一部の科目の成績及び単位修得状況により登録の可否を決定することとしている。

※2 慶應義塾大学、近畿大学は法曹コースにおける進級時の選抜は行っていないが、早期卒業の要件として進級時の成績基準を設定している。

※3 中央大学は3年次進級時のみ選抜試験を実施している。

※4 明治大学は2年次前期の法曹コース登録時点では、成績等によらず希望者全員が登録することができるが、3年次進級時点で、適正を欠くと思われる者がいると判断した場合は、他のコース（ビジネスローコース、国際関係法コース、公共法務コース、法と情報コース）へ変更させる機会を設けている。

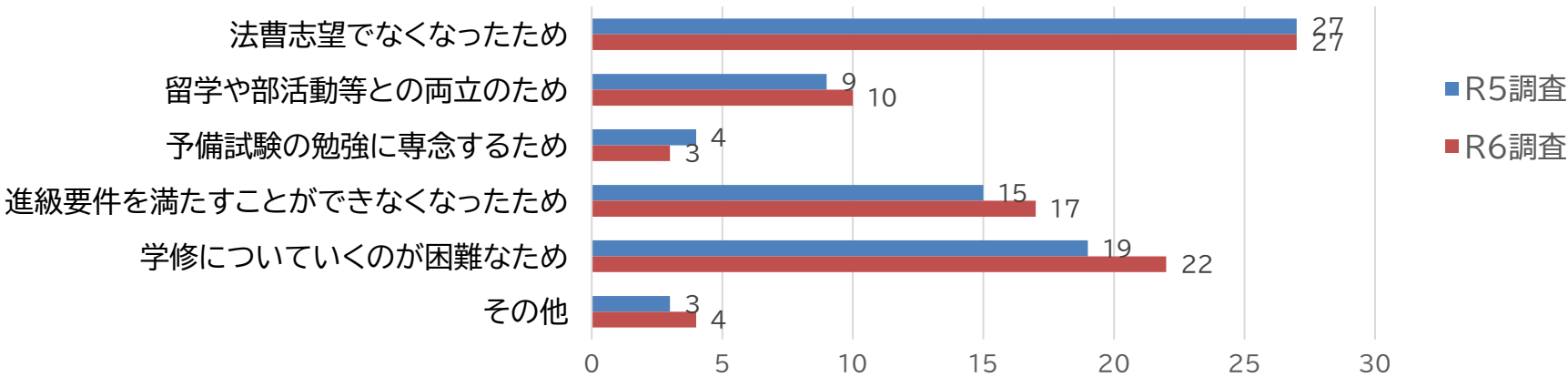
※5 立命館大学の法曹コースは、「司法特修」（法曹等を目指す学生向けのプログラム）を選択する学生（定員105名）のみが登録することができ、「司法特修」には成績（GPA）による選抜がある。

3. 法曹コースを辞めた理由

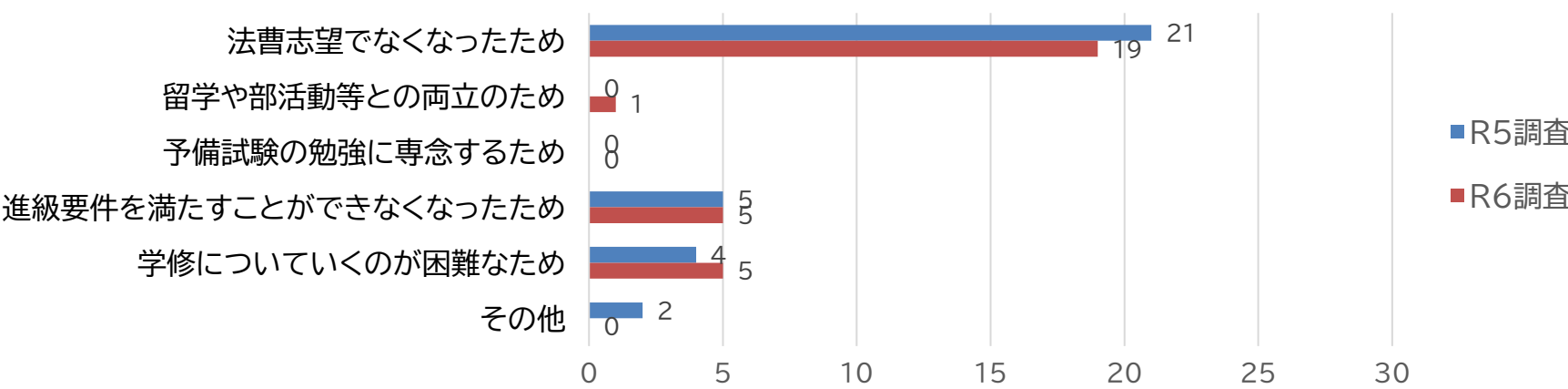
法曹コースを辞めた主な理由として該当すると考えられる項目は何か。（複数回答可）
その中でも、最も対象となる数が多いと考えられる項目は何か。

- ①法曹志望でなくなったため
- ②留学や部活動等との両立のため
- ③予備試験の勉強に専念するため
- ④進級要件を満たすことができなかったため
- ⑤学修についていくのが困難なため
- ⑥その他

<主な理由（複数回答可）>

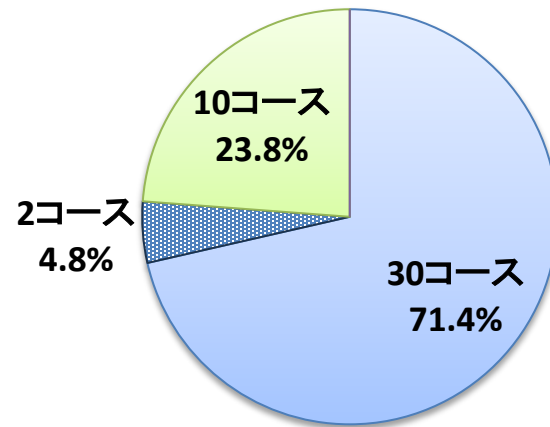


<その中でも、最も対象となる数が多いと考えられる理由（択一選択）>



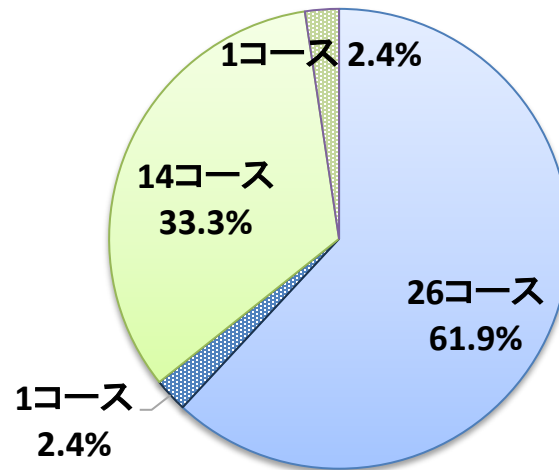
4. 法曹コース修了要件（全体）

法曹コースの修了要件として、G P A等の成績基準を設定していますか。



■ 設定している（～R5設置校）
 ■ 設定している（R6設置校）
 ■ 設定していない（～R5設置校）

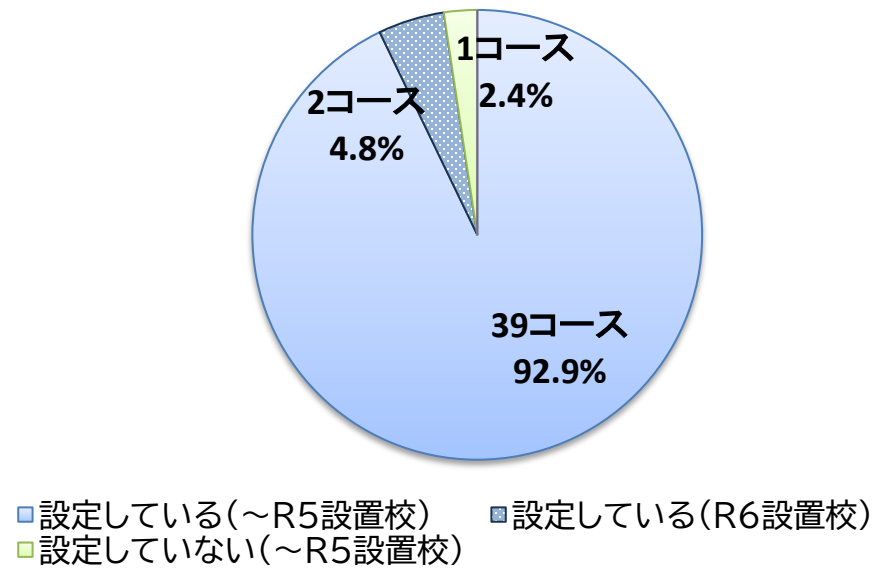
法曹コースの修了要件として、学部の卒業要件を満たすことを要件の一部又は全部として設定していますか。



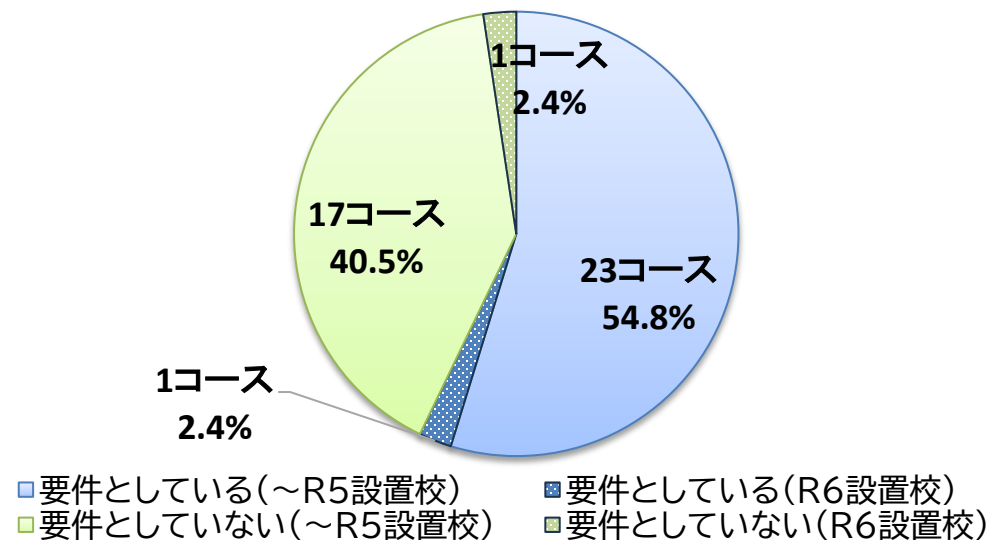
■ 設定している（～R5設置校）
 ■ 設定している（R6設置校）
 ■ 設定していない（～R5設置校）
 ■ 設定していない（R6設置校）

5. 早期卒業認定要件（全体）

早期卒業認定要件として、法曹コースを置く学部・学科、法曹コース独自の要件を設けていますか。



早期卒業認定要件として、法科大学院入学者選抜の合格を要件としていますか。



(参考) 法曹コース修了要件及び早期卒業認定要件 (内訳)

法曹コースを置く大学	法曹コース修了要件			早期卒業認定要件		
	①GPA等の成績基準	②学部の卒業要件を満たすことを要件の一部又は全部としている	③その他	①法曹コースを置く学部・学科、法曹コース独自の基準を設定	②法科大学院入学者選抜の合格	③その他
1.北海道大学	○	○	×	○	○	×
2.東北大学	×	○	×	○	○	×
3.千葉大学	○	×	×	○	×	×
4.東京大学	×	○	○(※1)	○	○	×
5.一橋大学	○	○	○(※1)	○	○	×
6.新潟大学	×	○	×	○	×	×
7.金沢大学	○	○	○(※1)	○	×	×
8.信州大学	○	×	○(※2)	○	○(※2)	○(※2)
9.名古屋大学	○	○	○(※1)	○	○	×
10.京都大学	○	○	○(※1)	○	○	×
11.大阪大学	○	○	○(※1)	○	○	○(※5)
12.神戸大学	○	×	○(※1)	○	×	×
13.岡山大学	×	○	×	○	×	×
14.広島大学	○	×	×	○	○	×
15.香川大学	○	○	○(※1)	○	○	×
16.九州大学	○	○	○(※1)	○	○	×
17.熊本大学	○	×	×	○	○	×
18.鹿児島大学	○	○	○(※1)	○	×	×
19.琉球大学	○	×	×	○	○	×
20.東京都立大学	○	○	○(※1)	○	○	×
21.大阪公立大学	○	○	○(※1)	○	×	×

(注)

- ※1 指定した科目の単位修得を法曹コース修了要件としている。
- ※2 信州大学は法科大学院入学者選抜の合格を法曹コース修了要件としている。また、学科の卒業に必要な単位の修得に加え、法曹コース修了を早期卒業認定要件としている（間接的に法科大学院入学者選抜の合格が早期卒業認定要件となっている）。
- ※3 中央大学は修了者認定試験の合格を法曹コース修了要件としている。
- ※4 創価大学の法曹コースの早期卒業認定要件は大学全体と同一の基準である。
- ※5 大阪大学はアドバイザー教員による学修指導を受け、2年次及び3年次の全学期における履修計画の提出を早期卒業認定要件としている。
- ※6 福岡大学は、福岡大学大学院（法科大学院含む）への進学が確定していることを早期卒業認定要件としている。

法曹コースを置く大学	法曹コース修了要件			早期卒業認定要件		
	①GPA等の成績基準	②学部の卒業要件を満たすことを要件の一部又は全部としている	③その他	①法曹コースを置く学部・学科、法曹コース独自の基準を設定	②法科大学院入学者選抜の合格	③その他
22.北海学園大学	○	○	○(※1)	○	×	×
23.学習院大学	○	×	×	○	×	×
24.慶應義塾大学	×	×	○(※1)	○	○	×
25.上智大学	○	○	○(※1)	○	×	×
26.専修大学	○	○	○(※1)	○	○	×
27.創価大学	○	×	○(※1)	×	×	×
28.中央大学	○	○	○(※3)	○	○	×
29.日本大学	○	×	×	○	×	×
30.法政大学	×	○	×	○	○	×
31.明治大学	○	○	○(※1)	○	×	×
32.明治学院大学	○	×	○(※1)	○	○	×
33.立教大学	○	○	○	○	○	×
34.早稲田大学	×	○	×	○	×	×
35.愛知大学	×	○	×	○	×	×
36.同志社大学	○	×	×	○	○	×
37.立命館大学	○	×	×	○	○	×
38.関西大学	×	○	×	○	○	×
39.関西学院大学	○	×	×	○	○	×
40.近畿大学	○	○	×	○	○	×
41.西南学院大学	×	×	○(※1)	○	×	×
42.福岡大学	○	○	○(※1)	○	○(※6)	×
合計	32	27	23	42	26	2

6. 早期卒業を希望する学生に対する学修支援

早期卒業を希望する学生に対する支援の内容や体制について記載してください。【自由記述】

- 個別面談を通じた学修指導教員、アドバイザー教員等からの指導・助言（多数）
 - 履修登録単位数の上限を緩和（東京、金沢、信州、大阪、神戸、関西学院、福岡）
 - （例）・各セメスターの履修単位数の上限を緩和する特則を置く（東京）
 - ・2年次終了時点で成績がGPA上位5%以内の学生は、3年次以降各学期履修単位の上限を緩和（関西学院）
 - ガイダンス等で早期卒業制度や履修計画を紹介（多数）
 - （例）・法曹コース選抜に合格した学生へガイダンスを実施し、3年卒業が可能となる履修プランなどを指導（千葉）
 - ・1年次学生向けのガイダンスおよび法律入門科目を通じて早期卒業制度について詳細な説明を実施（神戸）
- ＜その他＞
- 他のコースでは4年次に修得するゼミナールの単位を法曹コース生は3年次に修得することを認めている。
卒業論文の執筆指導も実施。（一橋）
 - 学修支援委員会を設置し、早期卒業志望者の学修支援に必要な情報を収集・分析し、学修指導教員に提供。（京都）
 - 基本7法を専門とする教員13名で、法曹養成プログラム対応演習（ゼミ）を担当し、早期から答案作成の個別指導が受けられる機会を提供。（北海学園）
 - 法曹コースに在籍する3年生に、年度始めに早期卒業の意思を確認し、滞りなく申請できるよう支援。
（法政）

Ⅲ. 法曹コースの教育

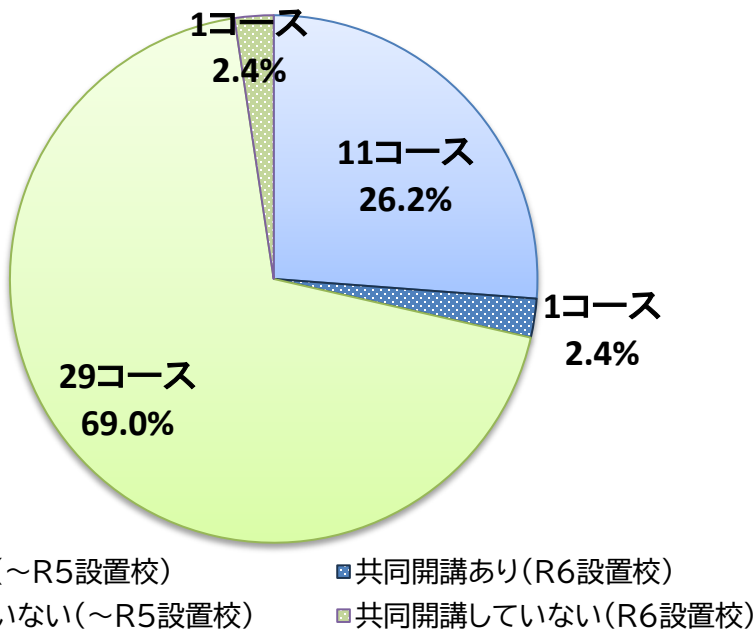
1. 法曹コースの教育課程等①

連携先の法科大学院と共同開講している科目はあるか。

■ 12コースが連携先の法科大学院との共同開講

科目を開設 (前年比+ 1コース)

○うち6コースでは、法曹コースの学生のみ、もしくは優先的に履修を認めている (前年比±0コース)



■ 共同開講している科目の区分

- 法律基本科目 (基礎科目) … 4 コース (前年比+ 1コース)
- 基礎法学・隣接科目… 4 コース (前年比+ 1コース)
- 上記以外の科目… 8 コース (前年比+ 1コース)

■ 共同開講している趣旨・科目の例

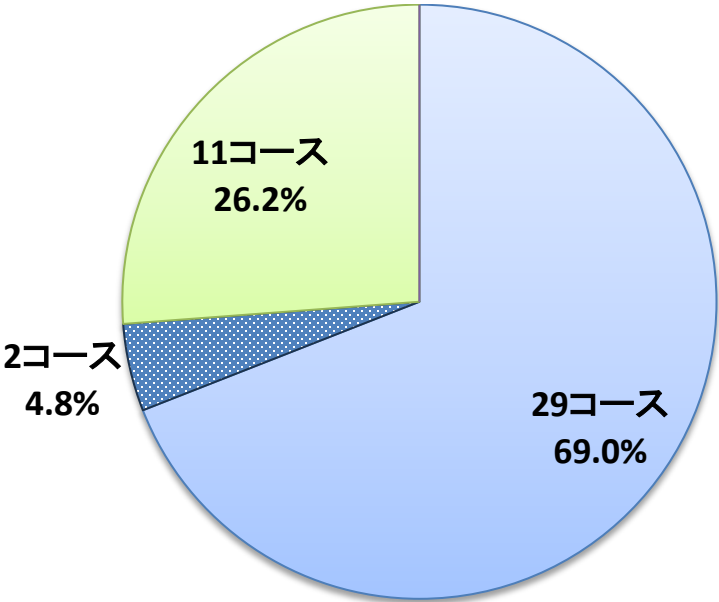
- 未修者1年次に修得すべき内容を学部段階で身に付けさせるため、法科大学院の1年次配当の法律基本科目 (基礎科目) に相当する基本7法10科目を共同開講 (岡山)
- 法曹コースの学生に更なる学修と先行履修の機会を提供するため、法科大学院2年次配当の法律基本科目 (基礎科目) に相当する「行政法基礎」を共同開講 (一橋)
- 法学部で開設されていない科目であり、かつ、法曹を目指す法学部生が学部時点で履修しても有意義であると考えられるため、基礎法学・隣接科目に相当する「法と経済学」を共同開講 (上智)
- 低学年から法曹という仕事に触れ、法科大学院進学という選択肢を検討してほしいという意図により、導入講義「法曹の仕事を知る」を共同開講 (早稲田)

1. 法曹コースの教育課程等②

法科大学院との共同開講ではないが、法科大学院教員が担当する科目はあるか。

■ 31コースが連携先の法科大学院教員が担当する科目を開設 (前年比+2コース)

- うち17コースでは、法曹コースの学生のために、もしくは優先的に履修を認めている (前年比±0コース)
- 31コースのうち、13コースでは、実務家教員が担当 (前年比+1コース)



■ LS教員担当科目あり(～R5設置校) ■ LS教員担当科目あり(R6設置校)
■ LS教員担当科目なし(～R5設置校)

■ 法科大学院教員が担当する趣旨・科目の例

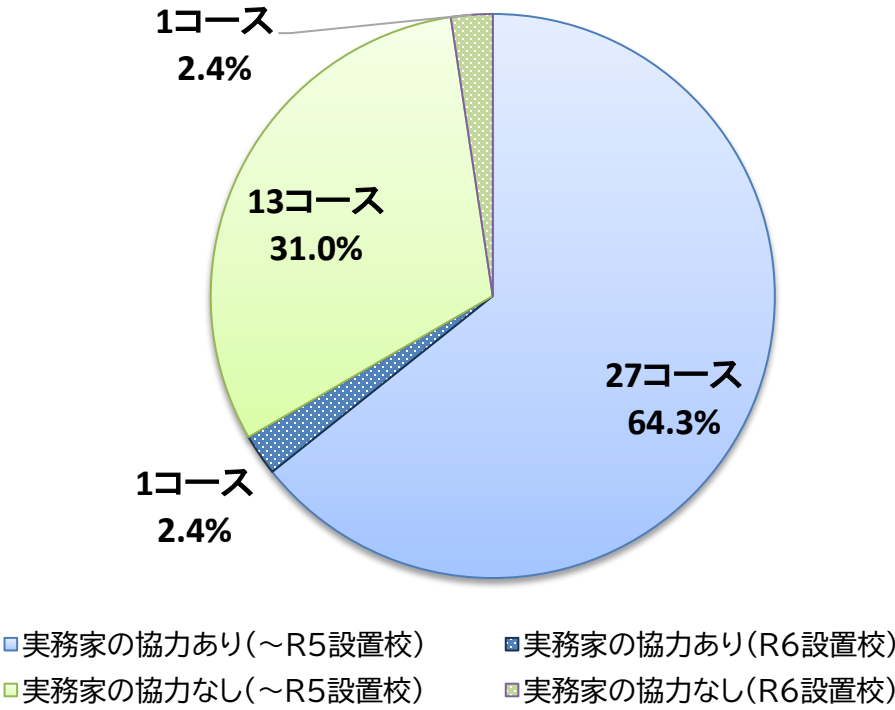
- 法科大学院教員が法曹の魅力伝えたり、法科大学院教育への導入を行うもの（千葉、金沢、信州、京都、東京都立、大阪公立、中央、明治、関西、関西学院）
- 少人数・双方向の授業やより高度な内容の授業を提供するもの（九州、専修、創価、立命館、関西、福岡）
- 法文書を作成するなどして、論述能力を涵養するための指導を行うもの（名古屋、岡山、東京都立、早稲田、同志社、関西学院）
- 法学部の教員の多くが法科大学院の教員を兼務するなど、日常的に連携を行っているもの（北海道、東北、東京、一橋、京都、大阪、神戸、琉球、学習院、慶應、上智、早稲田）

1. 法曹コースの教育課程等③

連携先の法科大学院との共同開講科目・法科大学院教員が担当する科目の他に、授業の一部で法律実務家（裁判官・検察官・弁護士など）の協力を仰いでいる科目はあるか。

■ 28コースが法科大学院教員が担当する科目以外で法律実務家が参画する授業を開設（前年比+1コース）

○うち12コースでは、法曹コースの学生のみ、もしくは優先的に履修を認めている（前年比±0コース）



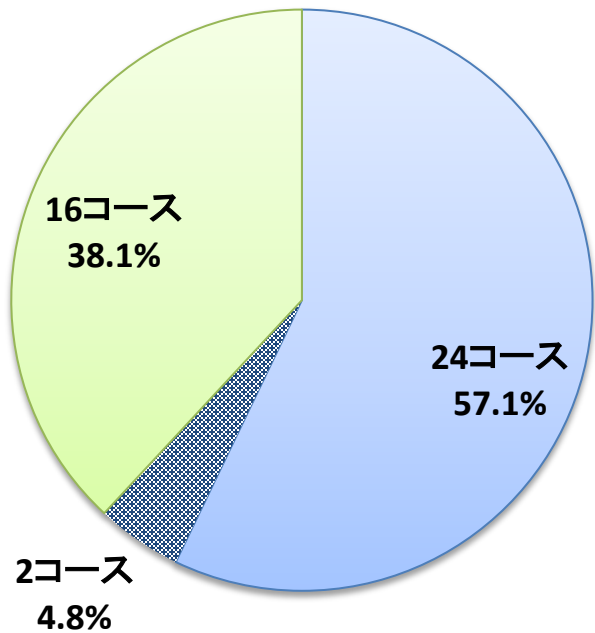
■ 法律実務家が参画する趣旨・科目の例

- 裁判官、検察官、弁護士などの法律実務家によるオムニバス形式の講義等により、法律実務の多様性や魅力について理解を深めるもの（北海道、一橋、金沢、信州、京都、大阪、神戸、大阪公立、慶應義塾、上智、明治、早稲田、関西学院）
- 法文書を作成するなどして、論述能力を涵養するための指導を行うもの（一橋、新潟、香川、九州、鹿児島、上智、創価、中央、明治学院、立教、同志社、関西、西南学院）
- 要件事実論の学修、模擬裁判、模擬法律相談等の臨床法学教育を行うもの（神戸、熊本、鹿児島、立命館）
- 裁判傍聴、刑務所訪問等のフィールドワークや企業法務部や弁護士事務所でインターンシップを行うもの（北海道、金沢、神戸）

1. 法曹コースの教育課程等④

授業外で法律実務家（裁判官・検察官・弁護士など）が学生指導に参画する機会を設けているか。

■ 26コースが授業外で法律実務家が学生指導に参画する機会を設けている（前年比+2コース）



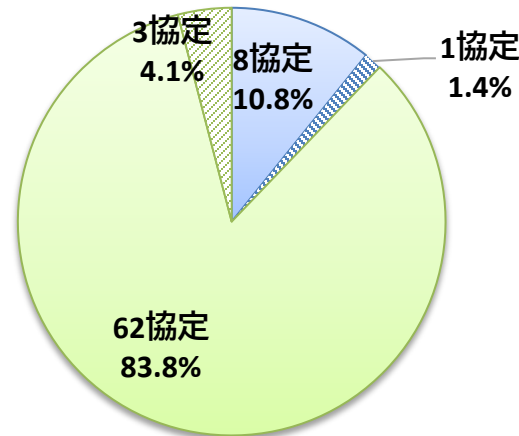
■機会あり(～R5設置校) ■機会あり(R6設置校) ■機会なし(～R5設置校)

■ 法律実務家が参画している例

- 裁判官、検察官、弁護士等による講演会等の開催（東京、九州、鹿児島、東京都立、明治学院、関西）
- 地元弁護士会が提供するゼミへの参加（琉球）
- 最高裁判所、地方検察庁、弁護士事務所等の職場見学の実施（東北、大阪、慶應義塾、早稲田）
- 法律事務所体験やインターンシップの実施（早稲田、関西）
- 法文書の作成指導等を実施（一橋、上智、創価、明治、立教、同志社、福岡）
- 進路や学修に関する相談（岡山、熊本、鹿児島、上智、専修、創価、明治学院）
- 研究室やセンター等の附属機関による課外講座の実施（創価、日本、立命館）
- 連携法科大学院の課外講座への特別参加（明治学院）

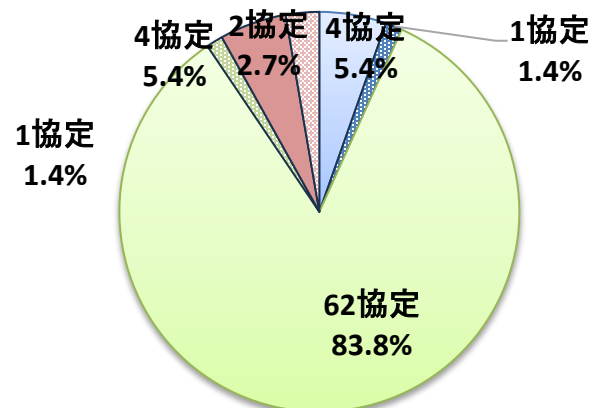
法曹コースと連携法科大学院における教育との円滑な接続を図るための措置について

① 連携法科大学院の授業を科目等履修しようとする学生に対する配慮



■ある(～R5設置校) ■ある(R6設置校)
■ない(～R5設置校) ■ない(R6設置校)

② 授業で使用する教材の統一



■ある(～R5設置校) ■ある(R6設置校)
■ない(～R5設置校) ■ない(R6設置校)
■その他(～R5設置校) ■その他(R6設置校)

<取組例>

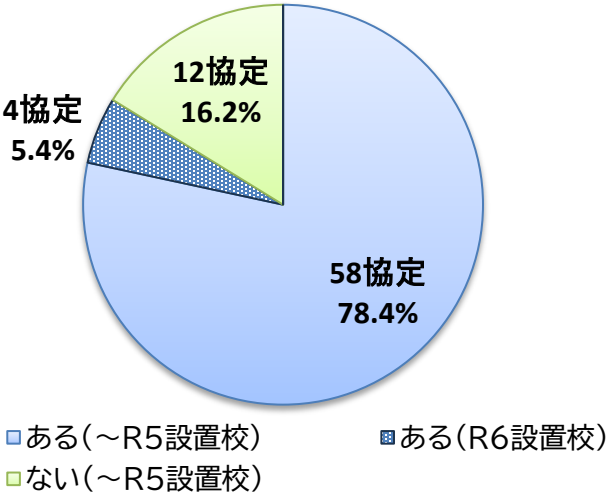
- 法曹コースの必修科目と時間割が重ならないよう調整
(大阪×大阪大学法科大学院、上智×上智大学法科大学院、
創価×創価大学法科大学院、愛知×愛知大学法科大学院、
関西×関西大学法科大学院)
- 夏季集中講義を科目等履修の対象科目とし、当該期間とイベントの開催日が重ならないよう調整
(東北×東北大学法科大学院)
- 「大学院科目早期履修制度」を導入（学部3年次生を対象に16単位を上限として法科大学院で開講する科目の履修を認める）
(日本×日本大学法科大学院)
- 「法科大学院授業科目早期履修制度」を導入（早期卒業予定者又は本学法学部4年次生以上の卒業見込者を対象に30単位を上限として法科大学院で開講する科目の履修を認める）
(福岡×福岡大学法科大学院)

<取組例>

- 共同開講科目や法曹コースと法科大学院双方の授業を担当する場合等に同一の教科書その他の教材を使用
(千葉×千葉大学法科大学院、岡山×岡山大学法科大学院、
名古屋×名古屋大学法科大学院、創価×創価大学法科大学院、
琉球×琉球大学法科大学院、専修×専修大学法科大学院)

法曹コースと連携法科大学院における教育との円滑な接続を図るための措置について

③ 法科大学院教育を意識して、少人数かつ双方向又は多方向で行う科目の開設

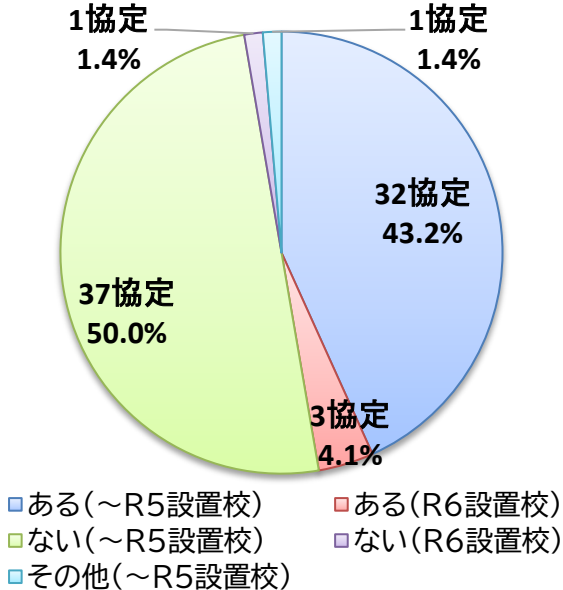


<取組例>

○少人数かつ双方向又は多方向の形式で行う演習科目（事例問題の検討、論文指導など）を開設（法科大学院教員や実務家が授業を担当するケースもある）

（北海道、東北、千葉、東京、一橋、新潟、金沢、信州、大阪、京都、神戸、岡山、広島、香川、九州、鹿児島、東京都立、学習院、上智、創価、中央、日本、法政、明治、明治学院、早稲田、同志社、立命館、関西、関西学院、近畿、西南学院、福岡）

④ 法科大学院における教育の導入としての科目の開設



<取組例>

○2年次の法学演習において、法情報検索、法律問題の論述等の基本的、入門的な内容の授業を提供（千葉）

○法科大学院で開設されるほとんどの科目について（法制史や比較法も含め）理論的な知見を含む高度な内容の授業を提供（東京）

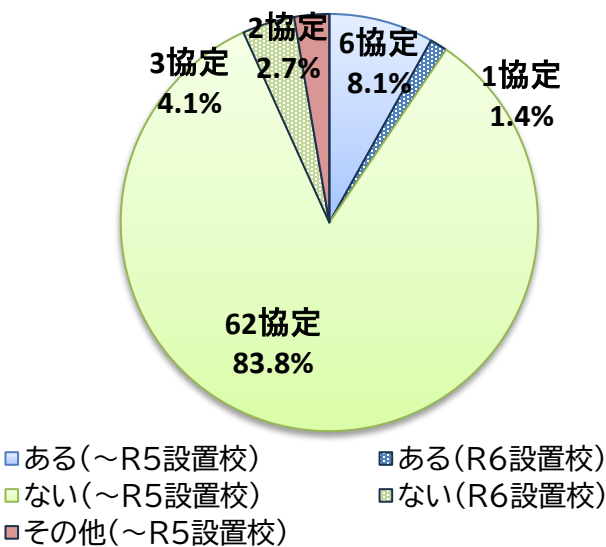
○法曹の仕事の魅力や法曹となるための方法を学ぶ科目を開設（信州、早稲田）

○「法文書作成」「法解釈基礎」「応用法律」「法曹養成基礎」「LS架橋演習」など法科大学院における教育を意識した科目の開設

（新潟、金沢、神戸、岡山、広島、香川、九州、**鹿児島**、**琉球**、東京都立、学習院、慶應義塾、日本、法政、早稲田、同志社、関西学院、近畿、西南学院）

法曹コースと連携法科大学院における教育との円滑な接続を図るための措置について

⑤ 法科大学院と同じ演習問題の事案等を活用

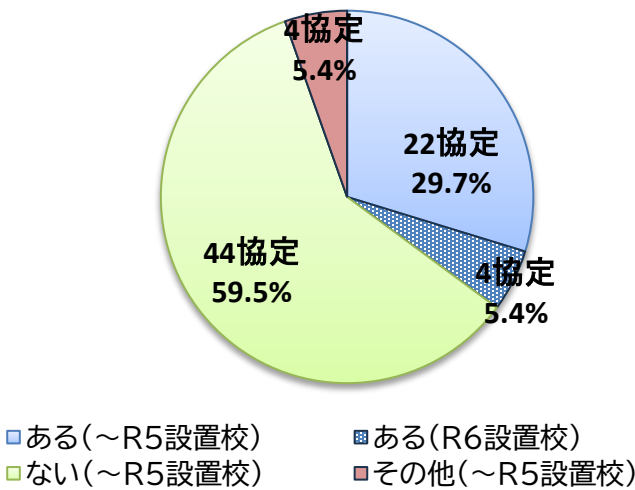


<取組例>

- 法科大学院教員が担当する科目、法科大学院を意識した導入的な科目において、法科大学院と同じ演習問題の事案等を活用（担当教員の判断により実施しているケースもある）

（北海道大学×北海道大学法科大学院、千葉×千葉大学法科大学院、名古屋×名古屋大学法科大学院、神戸大学×神戸大学法科大学院、広島×広島大学法科大学院、九州×九州大学法科大学院、**琉球×琉球大学法科大学院**、早稲田×早稲田大学法科大学院、関西学院×関西学院大学法科大学院）

⑥ 法科大学院の教員と法曹コースの教員が授業内容の共有や打合せを行っている



<取組例>

- 共同開講科目や法科大学院の教員が担当する科目があるため、日常的に授業内容の共有や打合せを実施（北海道、東北、千葉、東京、一橋、名古屋、大阪、岡山、九州、**琉球**、東京都立、大阪公立、学習院、上智、**専修**、福岡）
- 法科大学院の教員や実務家教員と定期的に協議会等を開催し、授業内容や学生に関する情報を共有（金沢、広島、創価、中央、法政、早稲田、関西）
- 法科大学院、法曹コースそれぞれのとりまとめの担当教員同士で定期的に打合せを実施（中央）

法曹コースの授業科目について、授業評価、授業参観等のFD活動 【自由記述】

多くの法曹コースで、学生への授業評価アンケートを実施し、担当教員へフィードバックを実施。

特徴的なものとして、

- 連携法科大学院と合同FDを実施（金沢、学習院）
- 連携法科大学院の授業やFD集会に、法曹コースの教員が参加（日本、創価）
- 連携法科大学院との意見交換、グッドプラクティスなどの共有（北海道、東京、一橋、学習院、関西学院）
- 法曹コース教員相互の授業参観（神戸、鹿児島、大阪公立、法政）
- 教員に対するアンケートで指導実感等を把握（信州）

4. 法曹コースの特色ある取組①

各大学の法曹コースにおける特色ある取組（アピールポイント）【自由記述】

- 法科大学院入試前は、合格に必要な知識を深め、論述能力を高める指導を行い、入試合格後は、法律基本科目に関する事例分析能力と論述能力を高めるための入学前の事前学習指導を行うなど、段階に応じた個別指導を実施（北海道）
- 法曹コース奨学金を設置、進路講演会の開催、職場訪問の実施、少人数及び双方向型の教育を行う実務演習の多数設定、論述能力の涵養に関する長期プログラム、法科大学院の春期講習セミナーへの参加等多数の取組を実施（東北）
- 学部・法科大学院一貫教育の理念に基づき、基本7法について、法曹コースの学生のみが参加可能な少人数授業「応用法学科目」を設置。法科大学院未修1年生向けの授業と同等の授業が、原則として法科大学院教員によって行われている。また、法曹コース修了学生には、本学法科大学院の特別選抜入試(論文試験免除)の受験資格が与えられる。（千葉）
- 法曹コースに登録しても、法曹コース必修科目以外は学生の自由な履修選択が可能であるところ、学部段階において、既に法制史や比較法を含めた高度な内容の授業を提供しており、法学を多角的に学ぶことが可能（東京）
- 正課内外を問わず、連携法科大学院である一橋大学法科大学院の修了生による指導を充実（一橋）
- アクティブラーニングを促す双方向型・多方向型の少人数の演習科目を開設し、自己表現・プレゼンテーション能力開発を重視した取組を実施（新潟）
- 専門教育で学んだ知識を現場体験を通じて定着させるため、法曹関係者の協力のもと、実習系科目(契約法務実習、捜査法務実習、裁判法務実習)を3年次の必修科目として配置（信州）
- 少人数で開講される演習形式の複数の授業（法解釈基礎および応用法律）を必修とすることで、きめ細かい指導や法律文書能力を早期から効果的に涵養できるコースとして設計（神戸）
- 基本科目（憲法、民法等）について、法科大学院未修者コースの学生とともに法科大学院の授業を受講できるよう措置。本学法学部、法科大学院出身の若手弁護士が学修アドバイザーとして指導。法科大学院の自習室や資料室の利用が可能となるよう措置（岡山）
- 法曹養成に携わっている法科大学院の教員、弁護士、司法書士、行政機関での実務家や実務経験を有する者が担当する科目を多数開講し、大学での学びと実社会での活躍の接続性を持たせるよう工夫（広島）

4. 法曹コースの特色ある取組②

各大学の法曹コースにおける特色ある取組（アピールポイント）【自由記述】（続き）

- 可能な限りミスマッチを防ぐため、最初の専攻教育科目の履修後の2年次前期終了時点で法曹コースへ登録（九州）
- 2年次前期の法曹コース登録に向け、1年次前期から法曹を意識した学修を行う「法学特修クラス」を設定（熊本）
- 法学部全体の少人数教育の方針を受け、法曹コースも少人数制を生かした運営を実施（例：法学政治学演習（導入演習）においては全ての2年次の法曹コース生が同一の双方向・多方向の少人数授業を履修）（東京都立）
- 演習科目における論文指導、連携法科大学院の授業を無料で受講可、夜間授業の実施（北海学園）
- 法曹コースをキャリア教育プログラムの一環と位置付け、法学部卒業後の進路の一つとして法科大学院進学を後押しするスタンスで対応。法学部卒業後の進路を法曹に限らず幅広く紹介し、法曹を目指す動機の明確化と、途中で法曹を目指すことを断念してもそれまでの努力が無駄にならないよう配慮（学習院）
- 連携先の法科大学院との協働体制および、主要科目に関する応用演習の充実、法曹実務家による進路指導（慶應）
- 少人数教育により、コース生一人ひとりに寄り添い、各コース生の長所や課題に即した丁寧な指導を実施（上智）
- コース選択時点では広く法曹に関心のある優秀な学生を受け入れており、2年次より法曹コース対象者のみが受講できる科目を展開し、法曹養成に習熟した教員による少人数授業を実施（専修）
- 法学部専任教員のほか、連携法科大学院所属教員、実務家教員も法曹コースの授業を担当し、連携法科大学院における教育との円滑な接続を図る授業を実現。教員、弁護士チューターにより個々の学生へのきめ細やかに学修指導（創価）
- 本学一貫教育プログラムの集大成として3年次に必修としている「実定法特講」と「法曹特講」の連携。“アカデミックスタッフ（法科大学院教員）による講義形式の「実定法特講」と“法曹実務家による演習形式の「法曹特講」”において、車の両輪のように緊密な連携を取りながら、授業運営を実施（中央）

4. 法曹コースの特色ある取組③

各大学の法曹コースにおける特色ある取組（アピールポイント）【自由記述】（続き）

- 課外で司法科研究室（学生研究室）との連携により、安価での司法試験に向けた準備が可能（日本）
- 学部と連携法科大学院との接続教育を円滑にするために、基礎知識の修得、法的思考能力の涵養、基礎的な文章起案能力の養成を目的とする法曹コース演習Ⅰ～Ⅳを実施（法政）
- 学内における国家試験指導センター（法制研究所）において、法曹を目指す者（法科大学院特別選抜入試のみに限定したものではない）を対象にした各種課外教育プログラムを実施し、学習支援を実施（明治）
- 学生の基礎力向上を目的に、3年次の5月に知識定着度確認試験（憲民刑の択一試験と論述試験）を実施。授業を補完するものとして、論述試験答練の課外講座を実施（2年次2回、3年次1回）。個別面談（各学年年2回）や学習管理システムmanabaを通じた随時の質問対応など、きめ細かな学生指導を実施（明治学院）
- 大学全体における学部生の施設利用方針に例外を設け、法曹コース生に対し、法務研究生と共に専用で利用できる学修支援スペースを供与（立教）
- OB・OGの実務法曹から業務の様子や学生時代のお話をうかがう交流企画、実際の事件を題材に弁護士が解説するゼミなど、座学から模擬裁判に至るまで、法曹実務を体験できる講座を開催。法科大学院が実施する答案添削等の指導を受ける機会の提供（早稲田）
- 法科大学院未修コース1年次生の必修授業を、全て直接受講可能（法科大学院相当の授業ではなく、法科大学院の授業そのものを受講できる）（愛知、琉球）
- 学生の進路変更に対応できるカリキュラムを提供（法曹養成プログラム履修のためのエントリー不要、多様な早期卒業制度）（同志社）

4. 法曹コースの特色ある取組④

各大学の法曹コースにおける特色ある取組（アピールポイント）【自由記述】（続き）

- 1回生からの丁寧なガイダンスと履修指導。法科大学院教員が法曹コース科目の多くを担当し、法科大学院進学後を見据えた教育の提供。早期卒業希望申請機会を3回設け各学生の状況に応じた進路選択が可能。他校法科大学院とも連携し、多様な進路機会の提供（立命館）
- 若手弁護士との交流機会、法律事務所への職業体験を実施（関西）
- 法曹コース募集段階では対象者を広く募り、それぞれの将来の目標に向けて段階的にステップアップできるカリキュラムを構築。説明会・ガイダンスを複数回実施し、履修モデルをもとにコース修了、法科大学院進学へ向けて教職員から丁寧に指導。文書作成能力の向上に向けた実務家教員の講義、若手弁護士との交流機会、法律事務所への職業体験を実施（関西）
- 学習相談会の開催、学生個々の相談窓口の明確化など、丁寧な学修指導。法学部、法科大学院の教員と法曹コースの学生との密な関係の構築（メーリングリストによる頻繁な情報発信など）。法科大学院の実務家教員が担当する法曹コースの科目において、担当教員から直接実務の状況を知ることができ、また、法廷などの現場へ行くことが可能（関西学院）
- 法曹コース生のみが履修できる科目の開講。事例問題の分析と答案作成を中心とし、少人数かつ双方向の講義を行っている（西南学院）
- 法曹コースの必修となる少人数科目や講義科目の一部を法科大学院教員が担当。法曹コースの科目担当や運営については、法学部と法科大学院で密接に連絡（福岡）

IV. 学生指導、広報活動、法曹コースの学生の様子

1. 法曹志望者の学生指導や広報活動

法曹志望者への学生指導について、工夫・配慮している点【自由記述】

- クラス担任制やアドバイザー制の導入（法曹コースと連携法科大学院の双方の教員が学修支援・進路相談にあたる）
- 定期的な面談の実施
- 法曹コース希望者への説明会、ガイダンス、進路相談の実施

＜その他＞

- 授業内外で、法曹実務家と交流する機会の提供（東京）
- 定期試験とは別に、法曹コース生に対して知識定着度確認試験（択一式は共通到達度確認試験を活用、論述式は新規作問）を実施（明治学院）

法曹コース登録や法科大学院進学等に関する学生からの質問内容【自由記述】

- 法曹コースの選抜に関すること（要件、定員、倍率など）
- 連携法科大学院の入学者選抜に関すること（受験資格、併願の可否、受験勉強の方法、法科大学院の学費など）
- 早期卒業制度に関すること
- 連携法科大学院における教育体制・学修支援体制に関すること

法曹コース登録や法科大学院進学等に関する学生等（※）に対する広報活動【自由記述】

※当該法曹コースを置く大学への入学予定者・入学希望者を含む

- 在学生に対するガイダンスや説明会の開催
- 高校生等の入学希望者への広報
 - ・オープンキャンパス、高校訪問、出前講義、パンフレット、ホームページ等で積極的に広報（多数）

2. 法曹コースの学生の様子

法曹コースの学生の様子【自由記述】

<法曹の志望度、意欲、熱意について>

- 法科大学院への進学及び法曹という進路について、より明確なモチベーションを持ち、熱心に学修する優秀な学生が多い。
- 自ら情報収集して進学先を検討するなど、目標に向けた着実な歩みが見られる。
- 法曹コースの登録時・進級時に選抜があること等を意識し、自主ゼミを行うなどして互いに研鑽を積んでいる。
- 1年次の段階から、専門科目の学修意欲が高い。
- 明確な目標をもって学修に取り組む姿勢が、他の学生を牽引する役割を果たしている。
- （地方公務員志望が多いため）法曹を第一志望とする学生は相対的に少なく、地域に根差した法曹の魅力をどのようにアピールするかが課題である。

<学修の負担、法科大学院進学に対する不安について>

- 早期卒業希望者にとっては授業スケジュールがタイトであり、やや負担が重いと感じているようである。
- 定期試験の成績評価や早期卒業認定基準が厳格であること、連携法科大学院の特別選抜の枠が限定されていること等により、法科大学院への進学に不安を抱いている学生もいる。
- 法曹コース所属による負担等により、部活動等との両立が困難となるといったような悩みが生じやすい。

<法曹コースを途中で辞める学生について>

- 早期卒業認定基準の厳格さによるものか、途中で挫折して法曹コースを辞める学生も僅かなが見られる。
- 法曹に対する理解や進路に関し、漠然とした考えでコース登録した者については、途中で離脱する事例がいくつか見られた。
- 司法試験勉強に耐えうる学生とそうでない学生に分かれていく。

2. 法曹コースの学生の様子

法曹コースの学生の様子【自由記述】（続き）

<その他>

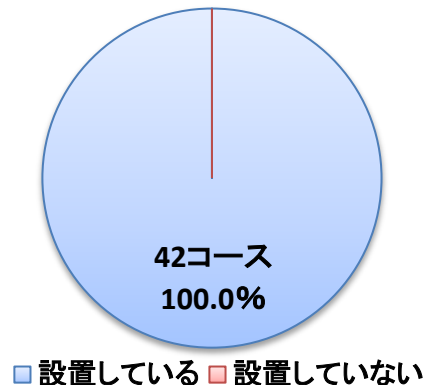
- 多様性を持った学生が集まっている。
- 最終的に法科大学院進学以外の進路を選択した学生であっても、法曹コース必修科目の受講態度は概ね意欲的であり、学修に一定の意義を見出している印象。
- 奨学金制度が充実した連携法科大学院は人気があり、経済的な面での悩みが少なからずあるように見受けられる。
- 法科大学院の特別選抜に合格したが、早期卒業の成績基準に届かず早期卒業が認められなかった法曹コース登録者は、4年次のモチベーション維持が課題。

V. 連携法科大学院との連携、法曹コース運営等

1. 連携法科大学院との連携、法曹養成連携協定を締結して良かったと感じる点

法曹コース連携協議会

■ 連携協議会を設置（42コース）



<メンバー>

法曹コース側は、法学部長、法曹コース長、法学部教授など。
法科大学院側は、法科大学院長、入試担当教員など。

<内容>

法曹コースのカリキュラムや開設科目の確認、在籍者数の動き、
学生の学修・成績状況、FD活動方針、入試状況など。

<開催頻度>

年1回のところから、毎月1回のところまで様々。

地理的に離れている場合の連携における工夫

- 会議等をオンラインで実施（多数）

法曹養成連携協定を締結して良かったと感じる点

<学部・法科大学院の連携体制>

- 法学部教員と法科大学院教員が、法曹養成のために一貫したプロセスを共に作り、協力していくための素地ができた。法曹養成のため、大学として一貫した対応を取れるように努力するきっかけとなった。
- 連携の在り方を明文化することにより、担当者の経験主義・個人的な判断に基づくことなく、組織的かつ適切な運営が確保できている。
- 相互に連携・協力すべき内容や目標が可視化され、明確になったことで実効性が高まった。
- 連携協議会によって、法学部の教員と法科大学院の教員が意見交換をする機会がこれまで以上に増えた。

1. 連携法科大学院との連携、法曹養成連携協定を締結して良かったと感じる点

法曹養成連携協定を締結して良かったと感じる点【続き】

<法科大学院がない大学や地域に与えた影響>

- 法科大学院がない大学であっても、協定により、法曹志望の学生の希望に応えられるようになった。
- 法科大学院がない大学や地域の学生であることを理由に法曹を目指すことを断念せず、法曹を目指す学生が増えた。

<法曹の志望度、熱意、意欲>

- 法学部に入学後、早い段階で法科大学院や司法試験を意識することにより、将来の目標がより早く明確になる学生が増えるなど、学生の意識改革が進んだ。また、本格的な学修をスタートさせる時期が早まった。
- 法曹を志望する学生に対し、法曹になるための具体的な道筋を一つ増やすことができた。
- 特別選抜制度や連携法科大学院の授業の履修により、法科大学院進学への関心が高まった。
- 特別選抜制度により、学部成績が法科大学院進学に直接関係するため、学部での勉学の大きな励みとなる。
- 法曹コースに所属する学生の学修に対する真摯な姿勢は、学部全体の学修意欲の向上をもたらしている。
- 勉学意欲の高い学生が、特に少人数の演習科目を積極的に履修するようになった。

<法曹コースの教育・指導>

- 法曹を目指す学生を早い段階から集め、法曹養成に向けた体系的な教育を実施できるようになった。
- 法科大学院教員、実務家教員の協力を得て、法科大学院教育と効果的に接続する法曹教育を学部生に提供できるようになった。また、学部の段階で連携法科大学院の教員の授業を履修する機会が得られるようになった。
- 特別選抜制度により、法科大学院に進学を希望する学生が独自かつ個別に法科大学院の入試対策（予備校通学や入試に特化した勉強等）にとらわれることがなくなり、大学の授業に集中できるようになった（大学の授業を中心に一所懸命勉強して良い成績をとれば法科大学院に進学することが可能）
- 連携法科大学院の開設科目との同等性の確保を図ることより、学部の教育内容の見直しを行うことができた。
- 法科大学院進学に向けて、具体的な目標や計画を示した上で指導ができるようになった。

2. 法曹コース運営に関して困っている点・不安な点、見直しを考えている点

法曹コースの運営に関して困っている点・不安な点

- 学生の間で法曹コースの制度が広く知られるようになったため、令和4年度の1年次の法曹コース選抜の受験者が昨年度と比べて大幅に増加したことは好ましいことであるが、法曹コース選抜に合格できなかった学生のモチベーションが下がらないかという点が気がかりである。
- 法曹コースの学生が科目等履修生として法科大学院の授業を履修した場合、単位修得率が低い。
- 複数校と締結する場合、最も厳しい条件の法科大学院に教育内容を合わせるため、学生の負担が大きくなっている。
- 制度を開始してからあまり年数が経っていないため、ロールモデルとなる先輩が少ないことに対する学生の不安を完全に解消することができていない。
- 法曹コースの学生数を安定的に確保することに不安がある。
- 少人数教育の実施と各学生へのきめ細かい指導等を要するため、法曹コースに関わる教員の負担が著しく増加した。論文指導などについて人手を多く要するとともに、授業とは別に課外講座等で知識を補うことも必要となった。
- 法曹コースの科目を大学3年間でしっかりと受講できるような時間割を策定しなければならず、毎年時間割の設定が大変。
- 法曹コースの運営開始から年数が浅く、複数の教員が個々の学生指導にあたる場合に、教員がきちんと連携し、学生に有益な指導を提供できるのか未知数。特に学生のチューターを担当している法学部教員と法科大学院教員が緊密に連絡する必要がある。
- 開放型選抜の受験において、入試の出願時期・実施時期や出願書類にばらつきがあり、相談において適切なアドバイスをするのに難しさを感じることもある。
- 法学部生のうちの一部の法曹コース生に対する支援というのは、全員が法曹をめざす法科大学院とは異なり、法曹コース生ではない他の学部学生との知識・レベル等の差は否めず、両者同時履修の授業では受講生間のそれらの差や意識のギャップをどう埋め合わせるか、苦労している。

2. 法曹コース運営に関して困っている点・不安な点、見直しを考えている点

法曹コースの運営に関して困っている点・不安な点【続き】

- 法曹コースから連携法科大学院に送り出している学生の進学後の成績・学習状況等の情報共有が不十分であるため、法曹コースにおける教育がコース生に有用かつ実効性あるものかどうかの検証がなされていない。
- 各々の連携法科大学院への進学に関し、基準が明確かつ安定的なものとなっていないことから、学生の質問や相談に的確に回答できないことがある。
- 法曹コースの内容および連携法科大学院への進学について、十分に理解しないで法曹コースに所属したり、あるいは所属しなかった学生が発生する事態を避けるため、学生に十分に周知する必要がある。
- 学部では、法曹コース以外の学生が大半を占めているため、法曹コース生のためだけの授業を設置することができていない。
- 法曹コースで勉学に励むほど、在学中に予備試験に合格する可能性が高まる。

法曹コースの運営に関して見直しを考えている点

- 法曹コース修了要件(早期卒業認定要件)を満たす学生が想定より少ないため、カリキュラムの変更やサポート体制の導入を検討している。
- 法曹コースの修了要件の緩和を検討している。
- 5年間（学部3年＋法科大学院2年）で司法試験に確実に合格できるよう、補習を充実させることを考えている。
- 法曹コース修了生と法曹コース生の縦のつながりを強化する取組を進めたいと考えている。
- 女性法曹の増加のため、法曹コース生及び法科大学院進学者の女性割合の増加に向けた取組を進める予定。
- 運営の合理化、効率化について検討している。
- 法科大学院教員が担当する授業科目の増設について検討している。
- 法曹コース運営委員会のメンバーに実務家教員を増やすなど、実務家教員の関与を増やすことを検討している。

3. 連携法科大学院、実務家団体への期待・要望

連携法科大学院への期待・要望

- 連携法科大学院のキャンパスを見学したり意見交換できる機会があることが望ましい。
- 法学部と連携法科大学院が立地的に離れているため、法科大学院の様子を知る機会が少ない点が課題であり、この課題への対応として、法科大学院側から説明会や講演会等を通じた法学部の学生（特に法曹コース生）への法科大学院の魅力をアピールはなされているもの、取組みを強化する必要がある。
- 学部・法科大学院一貫して学生を指導するメンター的な教員を配置していただきたい。
- 連携法科大学院所属のティーチング・アシスタント（TA）による各種アドバイス等を継続していただきたい。
- 連携法科大学院修了生の法曹（特に若手弁護士）による論文指導、相談対応などの協力を得たい。
- 今後、連携法科大学院教員に、法曹コースでの科目を担当してもらい、ガイダンスを実施してもらうことなどが考えられる。
- 遠隔講義の技術を活用するなどして、学生を直接ご指導いただく機会が増えることを期待する。
- 法科大学院修了生の同窓会組織との連携が少しずつなされているが、より一層強化する可能性を模索している。
- 複数校と協定を締結している場合、特別選抜出願書類について、例えば、共通様式のようなものがあると便利である。
- 特に5年一貫型教育選抜を想定し、どのような学生を養成してほしいかを具体的に示していただけるとありがたい。

地元の裁判所・検察庁・弁護士会などの実務家団体への期待・要望

- 現時点で、十分な支援や協力を得られており、今後も同様のご協力をお願いしたい。（同趣旨の回答多数）
- 法曹志望の学生が具体的に法曹の仕事に関して見聞できる講演会、セミナー等の企画があれば望ましい。
- 裁判所、検察庁、弁護士事務所等の実地見学を伴った業務説明会があるとありがたい。
- 法曹を目指す学生への支援として、論文指導や法曹コース科目の授業担当などを期待する。
- 法曹コース生の経済的負担の軽減や就職（進路）不安の解消に向けた取組を期待。特に、法曹志望の裾野が広がるよう、法曹コース学生等に対する公募奨学金の機会を拡充していただきたい。